



ユーザーガイド
I2477FWQ/I2777FQ
LEDバックライト



安全上の注意事項	4
国内表記法	4
電源	5
取り付け	6
お手入れ	7
その他	8
セットアップ	9
同梱されているもの	9
スタンドとベース	10
視野角を調整する	11
モニターを接続する	12
壁取り付け	13
調整	14
最適な解像度を設定する	14
Windows 8	14
Windows 7 の場合	16
Windows Vista	18
Windows XP	20
Windows ME/2000	22
ホットキー	24
MHL (Mobile High-Definition Link)の使用 (オプション)	25
OSD 調節機能	26
輝度	28
画像調節	29
色設定	30
部分ハイライト	31
OSD 設定	32
その他	33
終了	34
LED インジケータ	35
ドライバ	35
モニタードライバ	35
Windows 8	35
Windows 7	39
Windows Vista	43
Windows XP	45
Windows 2000	48
Windows ME	48
i-Menu	49
e-Saver	50
Screen+	51
トラブルシューティング	52
仕様	53

一般仕様	53
プリセットディスプレイモード	55
Pin Assignments	56
プラグアンドプレイ	58
規制	59
米国連邦通信委員会 (FCC) 通告	59
EU 電気・電子機器廃棄物 (WEEE) 指令準拠宣言	60
インドの場合、WEEE 宣言	60
日本向け材料含有率基準準拠宣言	61
VCCI	61
EPA Energy Star	61
TCO DOCUMENT	62

安全上の注意事項

国内表記法

次のサブセクションでは、本文書で使用する表記法について説明します。

注記、注意、および、警告

本ガイドでは、テキストにはアイコンが併記されてることがあります。また、テキストは太字または斜体で書かれていることがあります。テキストは注記、注意、警告です。次の内容を表します:



注記:「注記」はコンピュータシステムをより良くご利用いただくための重要な情報です。



注意:「注意」は、ハードウェアの破損やデータの損失につながる可能性があることを表します。また、危険を防止する方法について説明します。



警告:「警告」は、怪我につながる可能性があることを表します。警告によっては、異なる形式で表示され、アイコンが付いていないことがあります。その場合は、法定機関によって、特定の 방법으로警告を表示することが義務付けられています。

電源



モニターはラベルに記載されている電源タイプを使用して動作します。ご自宅の電源のタイプが分からない場合は、販売代理店または地域の電力会社までお問い合わせください。



モニターには 3 プロング接地プラグ(3 本の(接地)ピンのあるプラグ)が装備されています。このプラグは接地電源コンセントにしか差し込むことができないので安全です。ご自宅のコンセントが 3 ワイヤプラグに対応しない場合は、電気工に正しいコンセントの取り付けを依頼するか、または、アダプターを使用して機器を安全に接地します。接地プラグの安全性を損なわないでください。



雷を伴う嵐の際や、長期間使用しない場合は、ユニットのプラグの接続を外します。こうすることで、電圧の急激な変化によってモニターが破損することを防止します。



電源ケーブルや延長コードを取り付けすぎないでください。電源ケーブルや延長コードが多すぎると、火災や感電につながる可能性があります。



正しく操作するために、モニターは、100 – 240V AC、最小 1.5A と記載されたコンセントのある規格のコンピュータだけでお使いください。



壁コンセントは装置の近くに設置して、容易にアクセスできるようにします。



必ず付属の電源アダプタのみと一緒にお使いください。

Factory:

I2477FWQ

TPV ELECTRONICS(FUJIAN) CO., LTD MODEL : ADPC1245 (OUTPUT 12V)

L&T DISPLAY TECHNOLOGY(FUJIAN) LTD MODEL: ADPC1245 (OUTPUT 12V)

SHENZHEN HONOR ELECTRONIC CO.,LTD MODEL:ADS-65LSI-12-1 12045G (OUTPUT 12V)

I2777FQ

TPV ELECTRONICS(FUJIAN) CO., LTD MODEL : ADPC1965 (OUTPUT 19V)

SHENZHEN HONOR ELECTRONIC CO.,LTD MODEL:ADS-65LSI-19-1 19065G (OUTPUT 19V)

取り付け

! モニターは不安定なカート、スタンド、三脚、ブラケット、または、テーブルの上には設置しないでください。モニターが落下して、怪我をしたり、本製品の甚大な破損につながる場合があります。製造元が推奨するカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブル、または、本製品に付属のカート、スタンド、三脚、ブラケット、または、テーブルだけをお使いください。製品を取り付ける際には、製造元の指示に従います。また、製造元が推奨する取り付け付属品を使用します。製品をカートに載せて移動する際には十分に注意してください。

! モニターのキャビネットの穴に異物を押し込まないでください。回路部品が破損して、火災や感電につながる場合があります。モニターに液体をこぼさないでください。

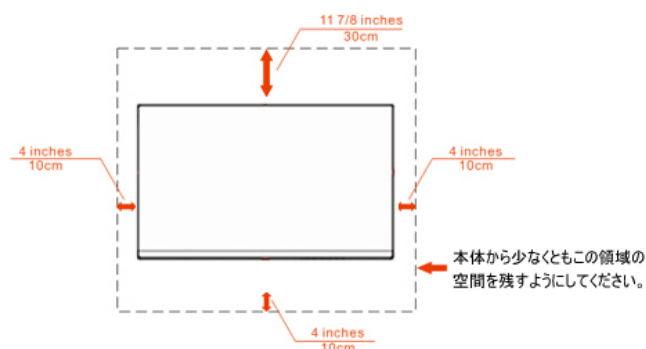
! 製品の前面を下にして床に置かないでください。

! モニターを壁や棚に取り付ける場合は、製造元が認証する取り付けキットを使用し、キットの説明書に従います。

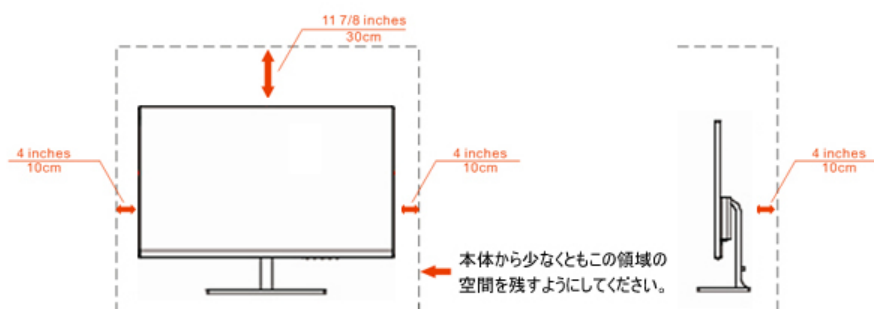
! 下の図にあるように、モニターの周囲には空間を保ちます。モニターの周囲に十分な空間がないと、空気循環が悪いために過熱して、火災につながったり、モニターが破損することがあります。

モニターを壁や棚に取り付ける場合は、下にあるモニター周囲の推奨換気領域を参照してください:


壁面に取り付ける





取付け(スタンド付き)



お手入れ

 キャビネットは付属の布を使って定期的に清掃します。シミを拭き取る場合は、強い洗剤ではなくソフト洗剤を使用します。強い洗剤を使うと、製品のキャビネットが焦げることがあります。

 お手入れの際には、洗剤が製品の中に入り込まないように注意します。粗い布で拭くと、スクリーン表面に傷が付きます。

 製品のお手入れの際には、電源コードの接続を外してください。



その他



製品から異臭がする場合や、異常な音が聞こえる場合、または、煙が出る場合は、直ちに電源プラグを抜いて、サービスセンターまでご連絡ください。



換気用の開口部がテーブルやカーテンで塞がれていないことを確認します。



LCD モニターの動作中は、激しく揺り動かしたり、強い衝撃を与えないでください。



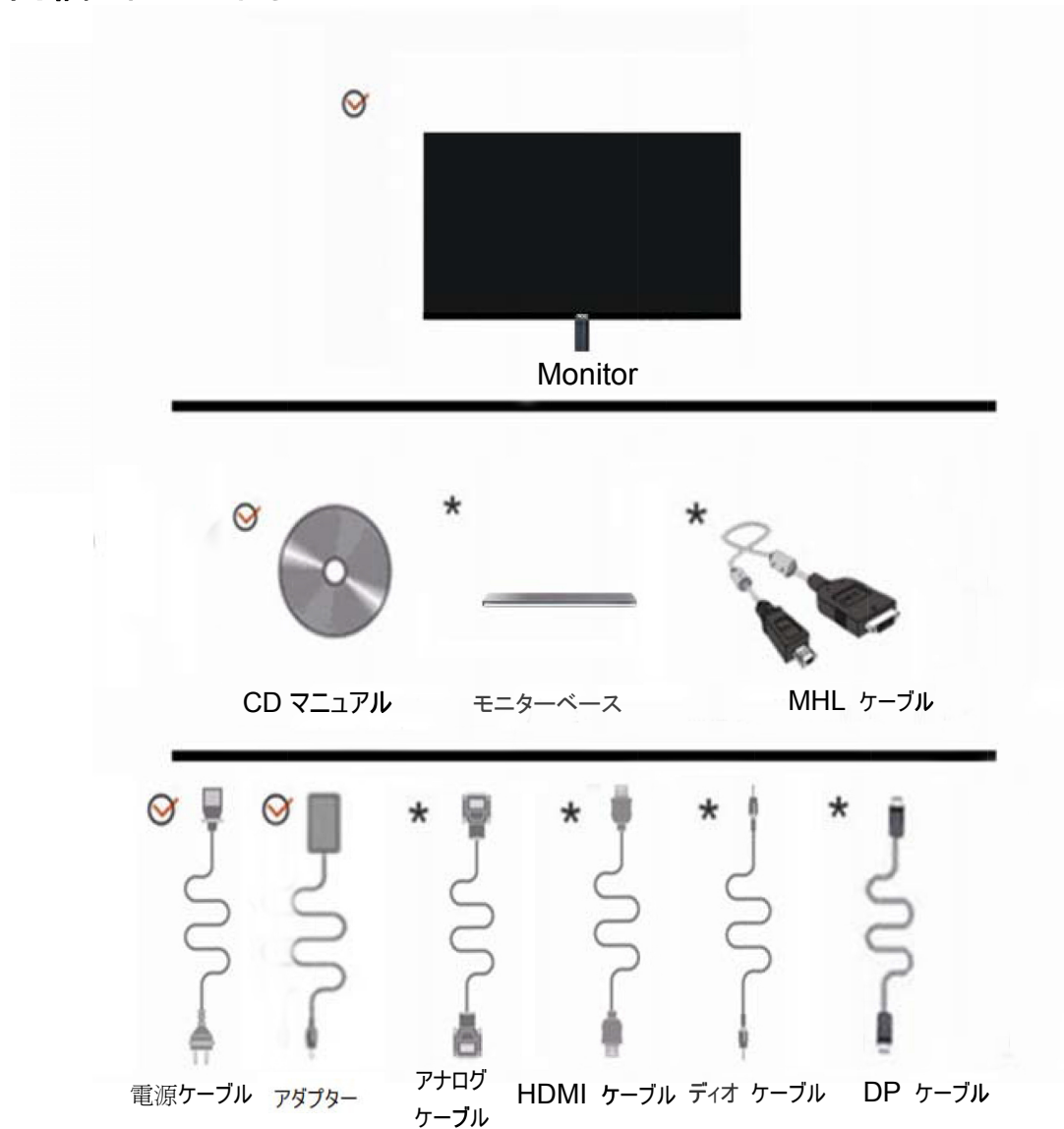
動作中や運搬中は、モニターを叩いたり落とさないでください。



光沢のあるベゼルの付いたディスプレイの場合、ベゼルが原因で周囲の照明と明るい面からの反射が妨害されることがあるため、ディスプレイの配置を考慮する必要があります。

セットアップ

同梱されているもの

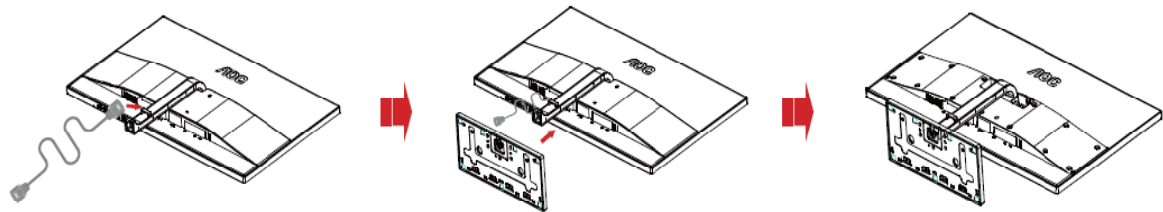


★一部の国や地域によって、信号ケーブル（オーディオ、アナログ、MHL、DP、HDMI ケーブル）の一部が同梱されていない場合があります。

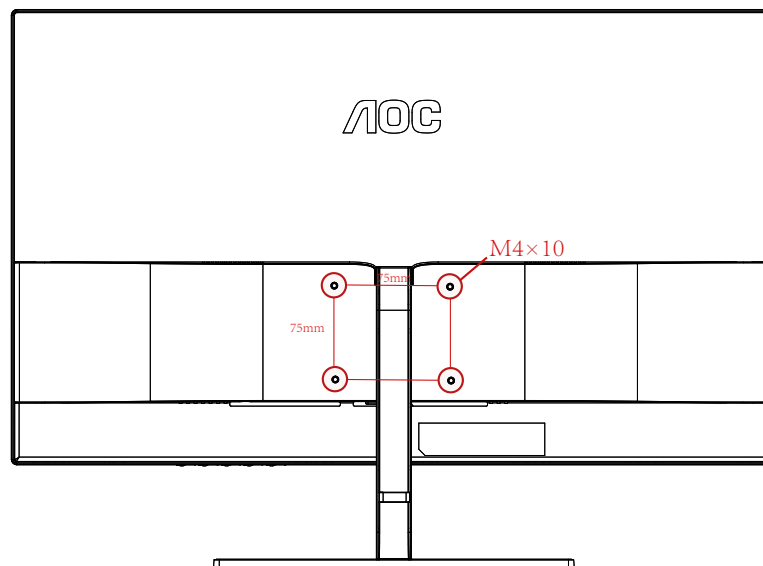
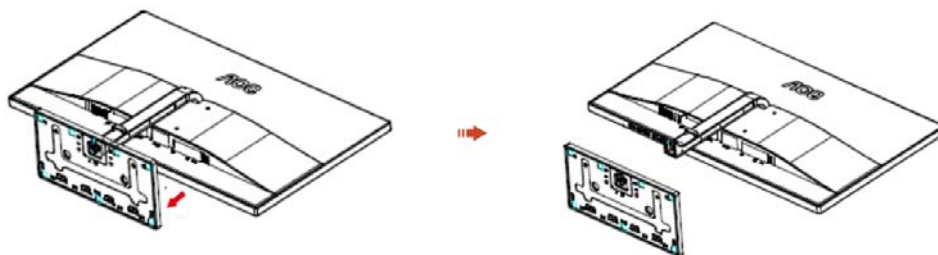
スタンドとベース

ベースをセットアップしたり取り外す場合は、次の手順に従います。

セットアップ:



取り外し:

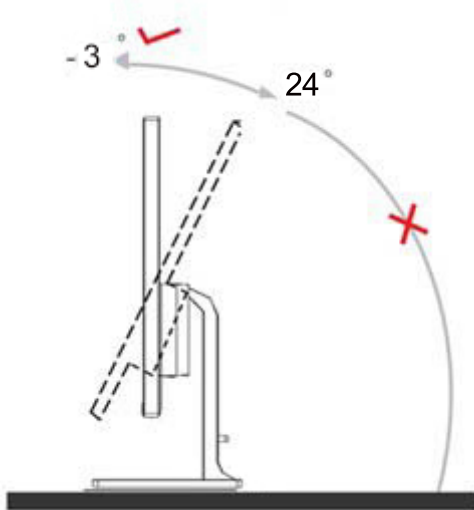


視野角を調整する

最適な視野角になるように、まず、モニターの全面を見て、次に、モニターをお好みの角度に調整します。

モニターの角度を変更する際には、モニターが倒れないようにスタンドを支えます。

モニターの角度は -3° ～ 24° に調整できます。



注記: 損傷を避けるために、 24 度を超えて表示角度を調整しないでください。



注記:

角度を調節するときに、液晶画面に手を触れないようご注意ください。液晶画面の破損や故障の原因となります。

表示角度を調整しているとき負傷を避けるために、モニタと台の間の隙間に手を近づけないでください。

モニターを接続する

モニターおよびコンピュータの背面のケーブル接続:



1. 電源
2. アナログ (DB-15 VGA ケーブル)
3. HDMI
4. オーディオ
5. イヤホンアウト
6. Display port
7. HDMI/MHL

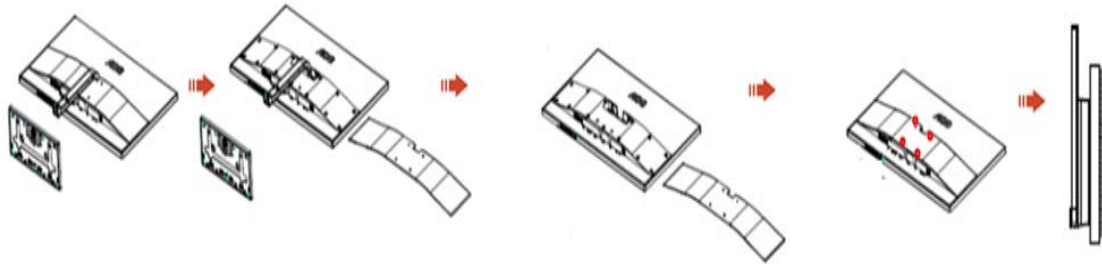
装置を保護するために、接続する前に PC と LCD モニターをオフにします。

- 1 電源ケーブルをモニターの背面にある AC ポートに接続します。
- 2 15 ピン D サブケーブルの一方の端をモニターの背面に接続して、もう一方の端をコンピュータの D サポートに接続します。
- 3 (オプション - HDMI ポートのあるビデオカードが必要です) - HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続して、もう一方の端をコンピュータの HDMI ポートに接続します。
- 4 (オプション - MHL ポートのあるビデオカードが必要です) - MHL ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続して、もう一方の端をコンピュータの MHL ポートに接続します。
- 5 (オプション - DP ポートのあるビデオカードが必要です) - DP ケーブルの一方の端をモニターの背面に接続して、もう一方の端をコンピュータの DP ポートに接続します。
- 6 (オプション) モニターの背面にある音声ポートに音声ケーブルを接続する。
- 7 モニターとコンピュータをオンにします。

モニターに画像が表示されれば、取り付けは完了です。画像が表示されない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。

壁取り付け

オプションの壁取り付けアームの準備をします。



本モニターは、別売りの壁面取り付けアームに据え付けることができます。準備をする前に、電源を切断します。次の手順に従います:

- 1 ベースを取り外します。
- 2 製造元の指示に従って、壁面取り付け用アームを組み立てます。
- 3 壁面取り付け用アームをモニターの背面に置きます。アームの穴をモニターの背面にある穴と揃えます。
- 4 4本のネジを穴に差し込んで締めます。
- 5 ケーブルを取り付け直します。オプションの壁面取り付け用アームに付属しているユーザーマニュアルにある指示に従って、アームを壁に取り付けます。

注記:機種によっては、VESA 規格の取り付け用ネジ穴がないことがあります。販売代理店、または、AOC の公式部署までお問い合わせください。

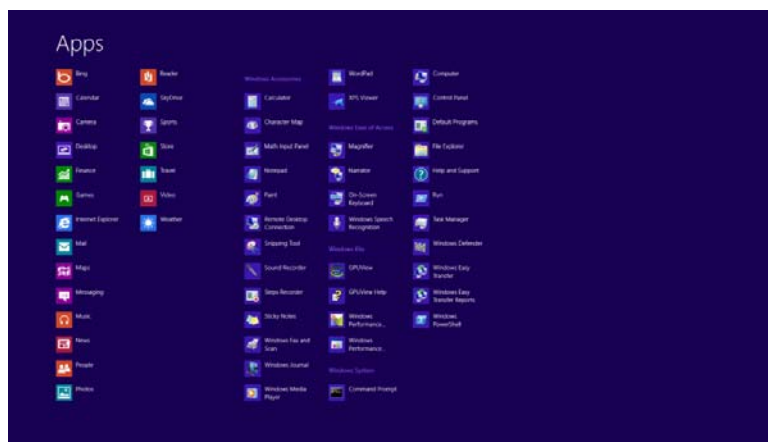
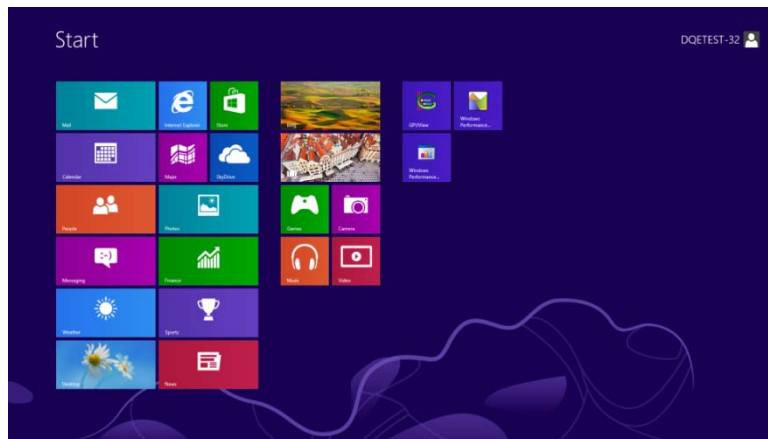
調整

最適な解像度を設定する

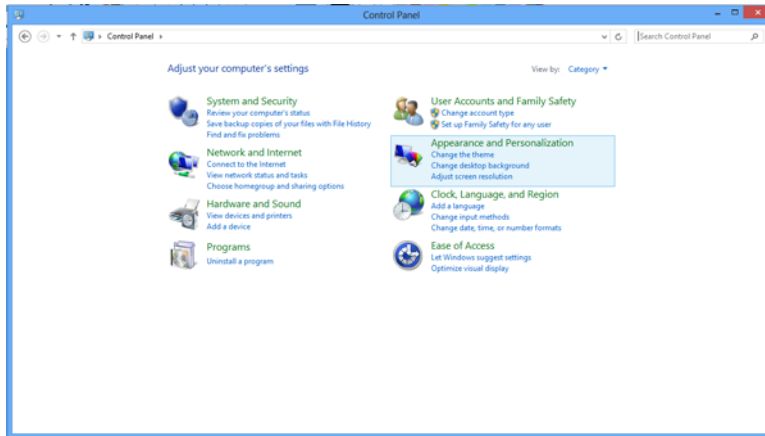
Windows 8

Windows 8 の場合：

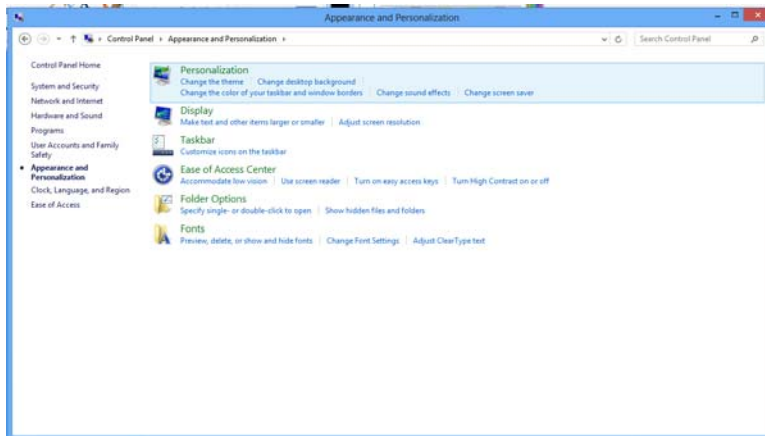
1. 右クリックし、画面右下で**すべてのアプリ**をクリックします。



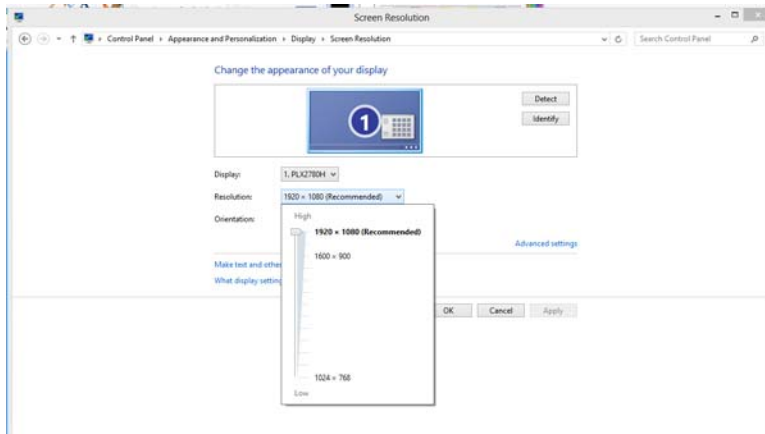
2. 「表示」を「カテゴリ」に設定します。
3. デザインとカスタマイズをクリックします。



4. 画面をクリックします。



5. 解像度スライダーを最適プリセット解像度 に設定します。



Windows 7 の場合

Windows® 7 を起動します。

1 **START**(スタート)をクリックします。

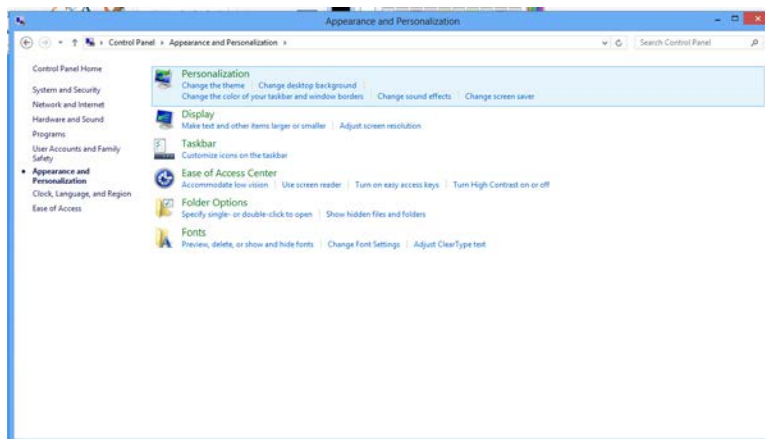
2 **CONTROL PANEL**(コントロール パネル)をクリックします。



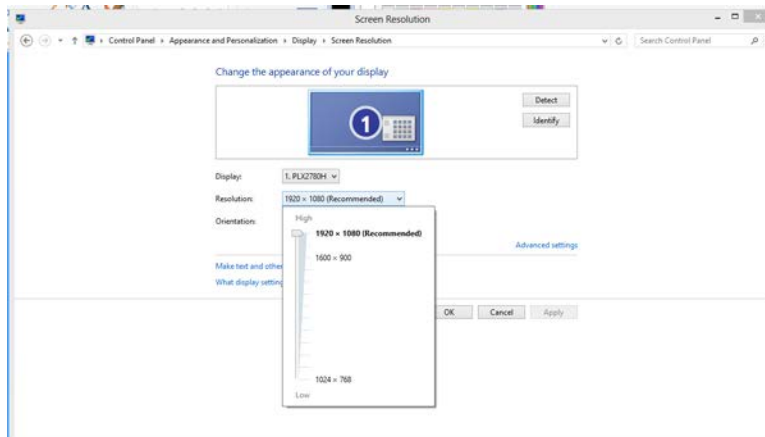
3 **Appearance and Personalization**(デスクトップの表示と個人設定)をクリックします。



4. 画面をクリックします。



5. 解像度SLIDE-BAR (スライダー)を最適プリセット解像度 に設定します。



Windows Vista

Windows Vista をお使いの場合:

1 START(スタート)をクリックします。

2 CONTROL PANEL(コントロール パネル)をクリックします。



3 Appearance and Personalization(デスクトップの表示と個人設定)をクリックします。



4 Personalization(個人設定)をクリックします。



5 Display Settings(画面の設定)をクリックします。



6 解像度 SLIDE-BAR (スライドバー)を最適プリセット解像度 に設定します。



Windows XP

Windows XP をお使いの場合:

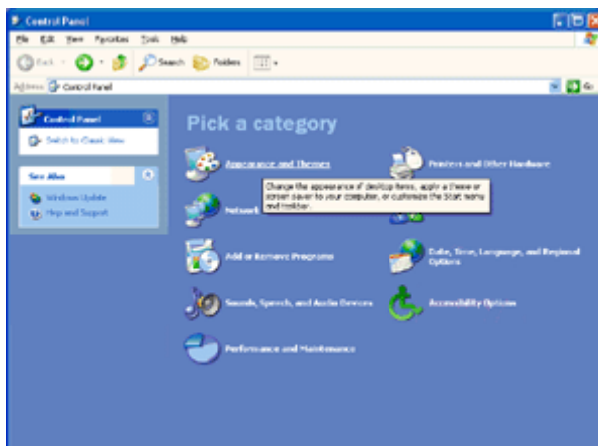
1 START(スタート)をクリックします。



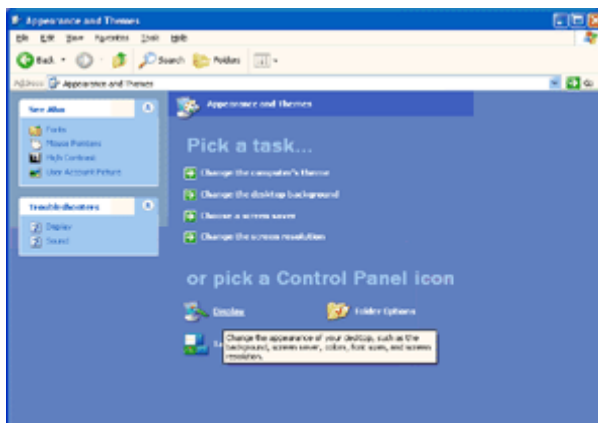
2 SETTINGS(設定)をクリックします。

3 CONTROL PANEL(コントロール パネル)をクリックします。

4 Appearance and Themes(デスクトップの表示とテーマ)をクリックします。

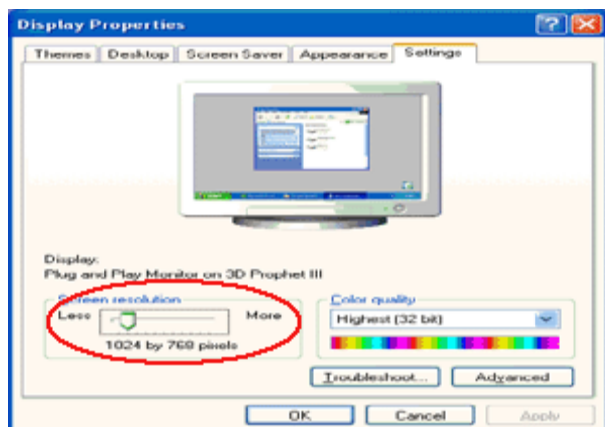


5 DISPLAY(画面)をダブルクリックします。



6 SETTINGS(設定)をクリックします。

7 最適プリセット解像度に解像度スライダーを設定します。

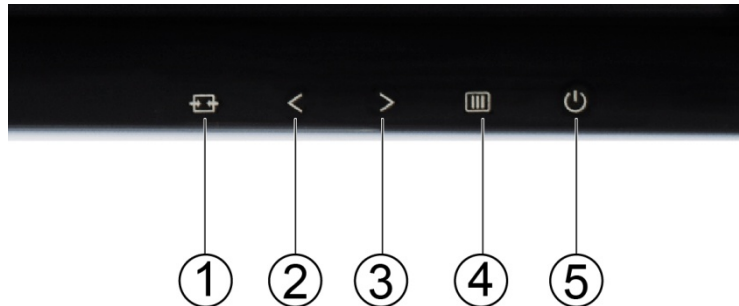


Windows ME/2000

Windows ME/2000 をお使いの場合:

- 1 START(スタート)をクリックします。
- 2 SETTINGS(設定)をクリックします。
- 3 CONTROL PANEL(コントロール パネル)をクリックします。
- 4 DISPLAY(画面)をダブルクリックします。
- 5 SETTINGS(設定)をクリックします。
- 6 解像度 SLIDE-BAR (スライダー)を最適プリセット解像度に設定します。

ホットキー



I2477FWQ/ I2777FQ

1	ソース/自動/終了
2	Clear Vision/<
3	音量/>
4	メニュー/確定
5	電源

電源

電源ボタンを押してモニタの電源をオン/オフにしてください。

音量 / >:

OSD が表示されない場合、音量 > を押して音量調整バーをアクティブにし、< または > を押して音量を 調整します (スピーカー搭載モデルのみ)。

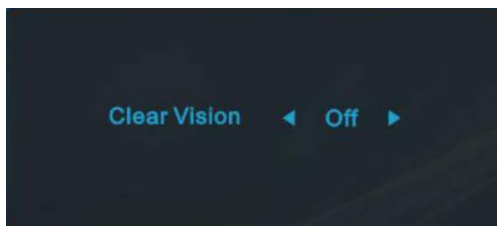
Auto/ 終了/ソース:

OSD が閉じている際に、Auto(自動)ボタンを押すと自動構成ホットキー機能となります。.

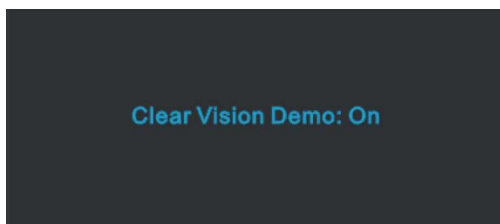
OSD が閉じている際に、Source(ソース、あるいは Auto/Source)ボタンを押すとソースホットキー機能となります。(デュアルあるいはそれ以上の入力モデルの場合のみ)Source(ソース)ボタンを連続して押し、メッセージバーに表示された中から入力ソースを選択、Menu/Enter (メニュー/確定)ボタンを押して選択したソースに変更します。

Clear Vision

1. OSD が表示されない場合、“<” ボタンを押して Clear Vision を有効にします。
2. “<” または “>” ボタンを使用して弱、中、強、オフ設定から選択します。デフォルト設定は常に “オフ” です。



3. “<” ボタンを 5 秒間押し続けて Clear Vision Demo を有効にすると、“Clear Vision Demo: オン” が 5 秒間画面に表示されます。“メニュー” または “終了” ボタンを押すと、メッセージが消え、“<” ボタンをもう一度 5 秒間押し続けると、Clear Vision Demo がオフになります。



Clear Vision 機能では、低解像度とぼやけた画像をクリアで鮮明な画像に変換することで、最高の画像表示を体験できます。

MHL (Mobile High-Definition Link)の使用(オプション)

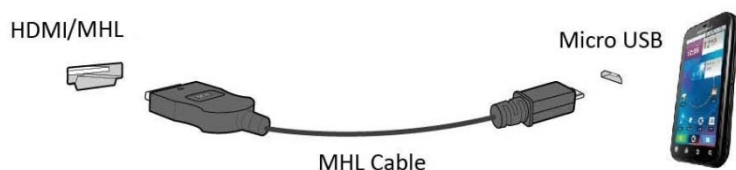
1. MHL (Mobile High-Definition Link)

MHL により、ビデオや写真(接続した MHL 対応携帯機器よりインポート)を製品画面で楽しむことができます。

- MHL 機能を使用するには、MHL 対応携帯機器が必要となります。ご使用の携帯機器の MHL 対応について確認するには、機器の製造元ホームページを参照してください。MHL 対応機器の一覧は、MHL 公式ウェブサイト (<http://www.mhlconsortium.org>)でご覧いただけます。
- MHL 機能を使用するには、携帯機器に最新版のソフトウェアをインストールしてください。
- 一部の携帯機器では、機器の性能あるいは機能性により MHL 機能が使用できない場合があります。
- 製品のディスプレイのサイズは携帯機器よりも大きいため、写真の画質が劣る場合があります。
- 本製品は MHL 公認製品です。MHL 機能の使用中に何らかの問題が発生した場合は、携帯機器の製造元までご連絡ください。
- コンテンツ(モバイル機器からインポートされた内容)の解像度が低い場合、製品で再生した際に画質が劣る場合があります。

使用 MHL

1.MHL ケーブルを使用して、携帯機器の micro USB ポートと製品の[HDMI / MHL]ポートを接続します。



- MHL ケーブルを使用する場合、このモニターにおいて MHL 機能に対応しているのは[HDMI / MHL]ポートのみです。
 - 携帯機器は別売りです。
2. ソースボタンを押し HDMI 1/MHL に切り替えて MHL モードを有効化します。
3. 約3秒で、MHL 画面が表示されます。

備考: 実際の待機時間は、携帯機器によって異なります。

携帯機器が接続されていないか、MHL に対応していない場合

- MHL モードが有効化されない場合、携帯機器の接続を確認してください。
- MHL モードが有効化されない場合、携帯機器が MHL 対応か確認してください。
- 携帯機器が MHL 対応であるにもかかわらず MHL モードが有効化されない場合は、携帯機器のファームウェアを最新版に更新してください。
- モバイルデバイスが MHL をサポートしているにもかかわらず、MHL モードが有効にならない場合、モバイルデバイスの MHL ポートが MHL の標準ポートであるか確認してください。標準ポートでない場合、追加の MHL 対応アダプタが必要です。

OSD 調節機能

OSD ボタンの基本操作




- 1) Menu/確定ボタンを押して、OSD メニューを起動します。
- 2) - または + を押して、これらの機能を確認します。調節したい機能を選択したい場合は、Menu/確定ボタンを押して起動します。選択された機能にサブ機能が含まれているときは、- または + をもう1回押して、サブ機能を確認できます。調節したい機能をポップアップ表示させたい場合は、Menu/確定ボタンを押して起動します。
- 3) - または + を押して、選択された機能の設定を変更します。選択を終了し選択内容を保存したい場合は、Auto/終了/ソースボタンを押して、終了・保存を選択します。他の機能を調節したい場合は、ステップ2-3 を繰り返してください。
- 4) OSD ロック機能: OSD をロックしたい場合は、本機の電源がオフのときにMenu/確定ボタンを押しながら、電源ボタンを押して本機を起動してください。OSD ロックを解除したい場合は、本機の電源がオフのときに、Menu/確定ボタンを押しながら、電源ボタンを押して本機を起動してください。

注意:

- 1) 本機の信号入力が一つかないときは、OSD の「入力選択」メニューは調節できません。
- 2) 本機のスクリーンの縦横比が4:3 または入力解像度がワイドスクリーンモードのとき、OSDの「画像比」メニューは調節できません。
- 3) モード設定・DCR・DCB モード・部分ハイライト・のいずれの機能が起動されているとき、他の機能は自動的にオフになります。

輝度




1. **MENU** を押して、メニューを表示させます。
2. - また + を押して  (輝度) を選択します。 **MENU** を押して、次に進みます。
3. - または + を押して、サブ機能メニューを選択し、 **MENU** を押して、次に進みます。
4. - または + を押して、調節します
5. **AUTO** を押して、終了します。


主項目メニュー	副項目メニュー	サブメニュー	説明
輝度 	明るさ	0-100	画面の明るさを調整します。
	コントラスト	0-100	画面のコントラストを調整します。
	モード設定	 スタンダード	スタンダードモード
		 テキスト	テキストモード
		 インターネット	インターネットモード
		 ゲーム	ゲームモード
		 映画	映画モード
		 スポーツ	スポーツモード
	ガンマ	ガンマ 1	ガンマ 1 に調整します。
		ガンマ 2	ガンマ 2 に調整します。

		ガンマ 3	ガンマ 3 に調整します。
	DCR	 オフ	ダイナミック・コントラスト機能を停止します。
		 オン	ダイナミック・コントラスト機能を起動します。
	Overdrive	強	応答時間の調整
		中	
		弱	
		オフ	

画像調節





1. **MENU** を押して、メニューを表示させます。
2. - または + を押して、 (画像調節) を選択します。 **MENU** を押して、次に進みます。
3. - または - を押して、サブ機能メニューを選択し、 **MENU** を押して、次に進みます。
4. - または - を押して、調節します。
5. **AUTO** を押して、終了します。

主項目メニュー	副項目メニュー	サブメニュー	説明
画像調節 	水平サイズ	0-100	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調整してください。
	位相	0-100	画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼけが起こった場合に調整してください。
	鮮明度	0-100	画像の鮮明度を調整します。
	水平位置	0-100	画面位置の左右方向の調整をします。
	垂直位置	0-100	画面位置の上下方向の調整をします。

色設定




1. **MENU** (メニューボタン)を押して、メニューを表示させます。
2. - または + を押して、 (色温度)を選択します。 **MENU** を押して、次に進みます。
3. - または + を押して、サブ機能メニューを選択し、 **MENU** を押して、次に進みます。
4. - または + を押して、調節します。
5. **AUTO** を押して、終了します。

主項目メニュー	副項目メニュー	サブメニュー		説明
<div>色設定</div> 	色温度	ワーム		暖色設定。
		通常		自然色設定。
		クール		寒色設定。
		sRGB		sRGB 設定。
		ユーザー設定	赤	赤色温度微調整。
			緑	緑色温度微調整。
			青	青色温度微調整。
	DCB モード	フルエンハンス	オン/オフ	フルエンハンスモード オン/オフ。
		ナチュラルスキン	オン/オフ	ナチュラルスキンモード オン/オフ。
		グリーンフィールド	オン/オフ	グリーンモード オン/オフ。
		スカイブルー	オン/オフ	スカイブルーモード オン/オフ。
		自動設定	オン/オフ	自動計測 オン/オフ。
	DCB デモ		オン/オフ	左画面デモ オン/オフ。

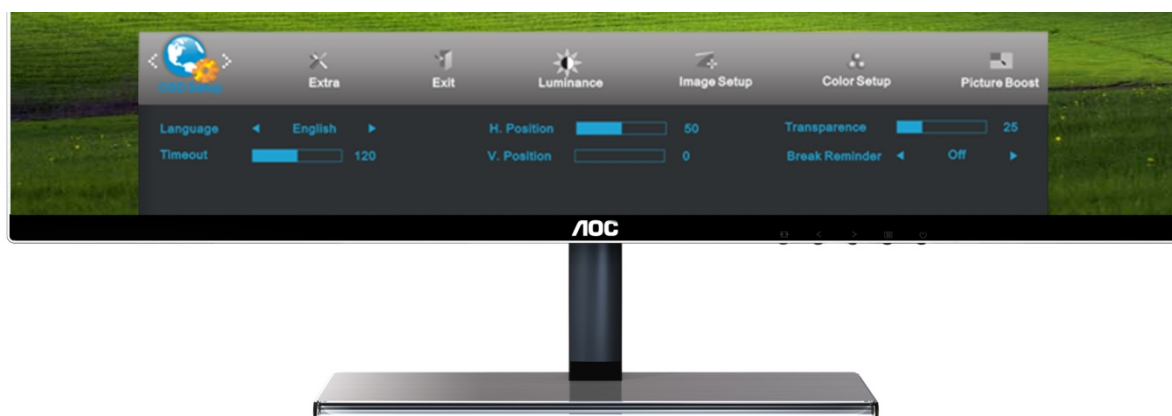
部分ハイライト




1. **MENU** (メニューボタン)を押して、メニューを表示させます。
2. - または + を押して、 (部分ハイライト)を選択します。 **MENU** を押して、次に進みます。
3. - または + を押して、サブ機能メニューを選択し、 **MENU** を押して、次に進みます。
4. - または + を押して、調節します。
5. **AUTO** を押して、終了します。

主項目メニュー	副項目メニュー	サブメニュー	説明
部分ハイライト 	画面サイズ	14-100	部分ハイライト画面サイズを調整します。
	明るさ	0-100	部分ハイライト画面の明るさを調整します。
	コントラスト	0-100	部分ハイライト画面のコントラストを調整します。
	水平位置	0-100	部分ハイライト画面の水平位置を調整します。
	垂直位置	0-100	部分ハイライト画面の垂直位置を調整します。
	部分ハイライト	オン/オフ	部分ハイライト オン/オフ。

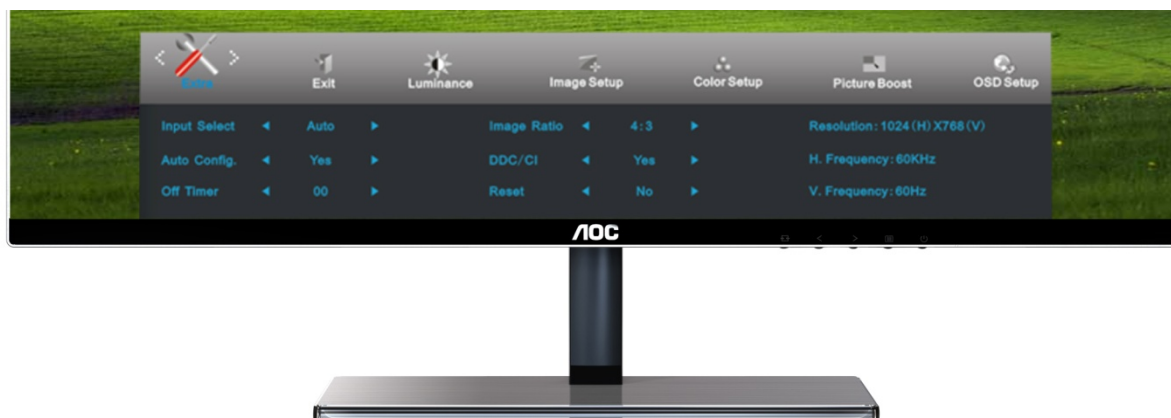
OSD 設定






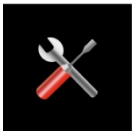
1. **MENU** を押して、メニューを表示させます。
2. - または + を押して、 (OSD 設定)を選択します。 **MENU** を押して、次に進みます。
3. - または + を押して、サブ機能メニューを選択し、 **MENU** を押して、次に進みます。
4. - または + を押して、調節します。
5. **AUTO** を押して、終了します。

主項目メニュー	副項目メニュー	サブメニュー	説明
OSD設定 	水平位置	0-100	OSD 画面 の水平位置を調整します。
	垂直位置	0-100	OSD 画面 の垂直位置を調整します。
	OSD 表示時間設定	5-120	OSD 画面の表示時間を調節します。
	OSD 透明度	0-100	OSD 画面の透明度を調整します。
	言語		OSD 画面表示の言語を選択します。
	休憩 リマインダー	オンまたはオフ	休憩 リマインダー,を無効または有効にします。 (1 時間作業しました、休憩しますか?) / (2 時間作業しました、休憩しますか?)

その他





1. **MENU** を押して、メニューを表示させます。
2. - または  を押して、**その他**を選択します。 **MENU** を押して、次に進みます。
3. - または  を押して、サブ機能メニューを選択し、 **MENU** を押して、次に進みます。
4. - または  を押して、調節します。
- 5 **AUTO** を押して、終了します。

主項目メニュー	副項目メニュー	サブメニュー	説明
その他 	入力選択	D-sub/自動//HDMI1(MHL1) /HDMI2/DP	入力信号の自動検出。
	自動設定	はい/いいえ	画面を既定値に自動調整。
	オフタイマー	0~24 時間	オフタイマーの時間を設定。
	画像比	ワイド/4:3	ワイドスクリーンまたは4:3 の表示フォーマットを選択。
	DDC-CI	はい/いいえ	DDC- CI サポート機能のオン/オフ。
	リセット	はい/いいえ	リセットメニューは既定値。
	情報		メイン/サブ画像源の情報を表示。

終了



- 1. **MENU** を押して、メニューを表示させます。
- 2. - または + を押して、 (終了)を選択します。 **MENU** を押して、次に進みます。
- 3. **AUTO** を押して、終了します。

主項目メニュー	副項目メニュー	サブメニュー	説明
終了 	終了		OSD 設定を終了。

LED インジケータ

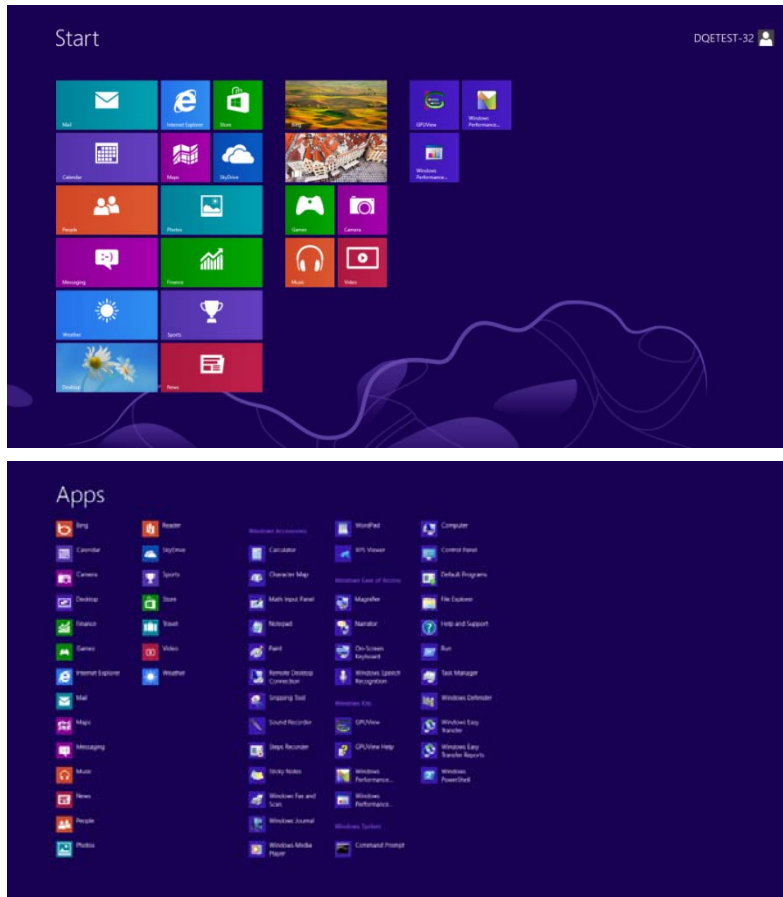
状態	LED インジケータの色
電源がオンで信号入力がある場合	青
電源がオンで信号入力がない場合	赤

ドライバ

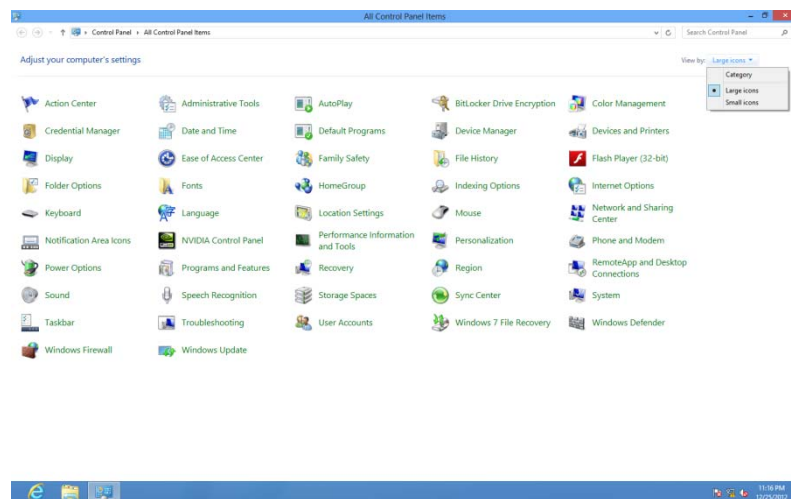
モニタードライバ

Windows 8

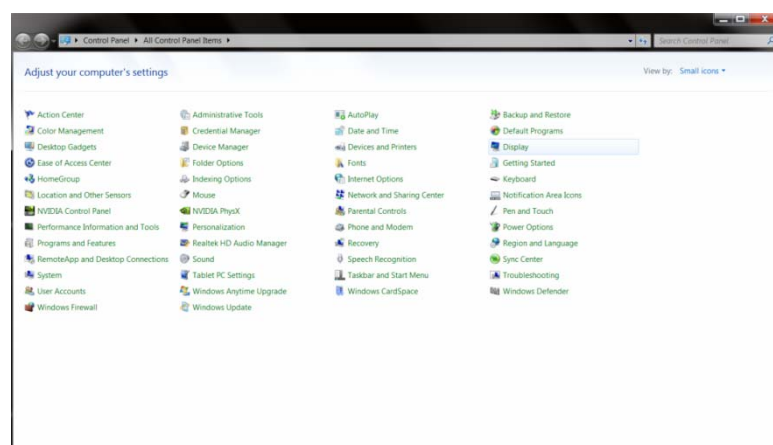
1. Windows® 8 の起動
2. 右クリックし、画面右下で**すべてのアプリ**をクリックします。



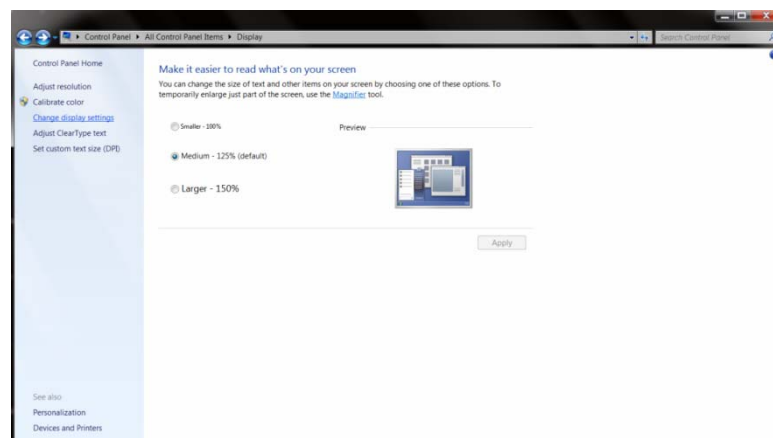
3. 「コントロールパネル」アイコンをクリックします。
4. 「表示」を「アイコン」または「小アイコン」に設定します。



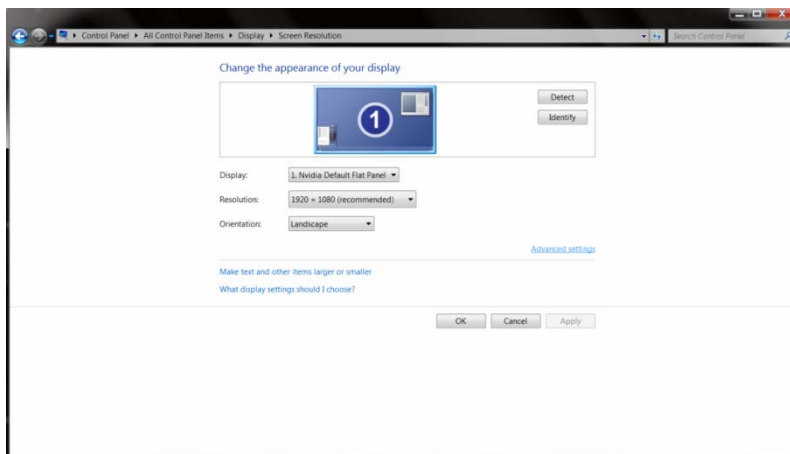
5. 「画面」アイコンをクリックします。



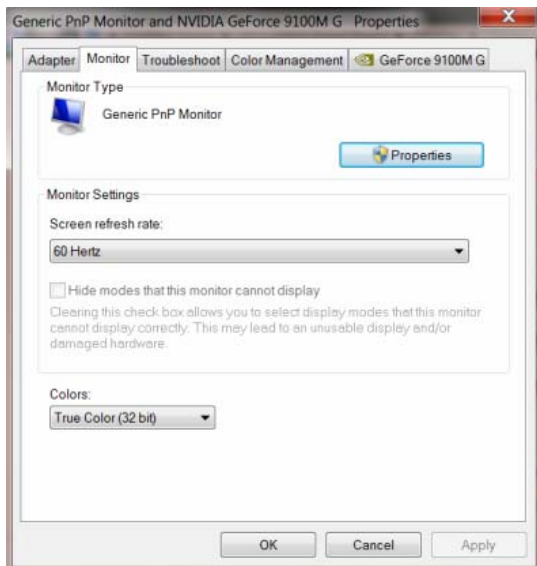
6. 「画面設定の変更」ボタンをクリックします。



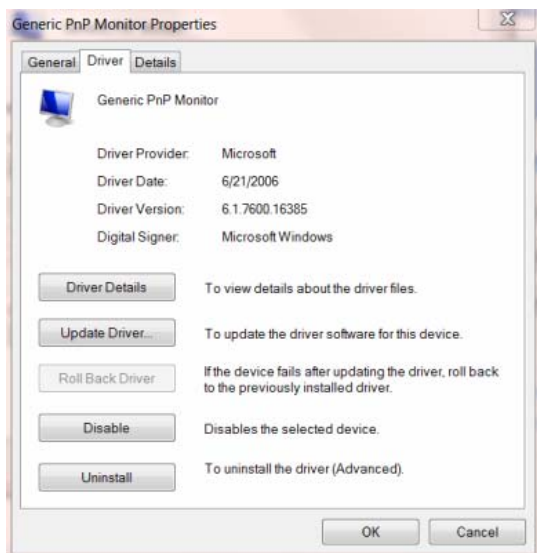
7. 「詳細設定」ボタンをクリックします。



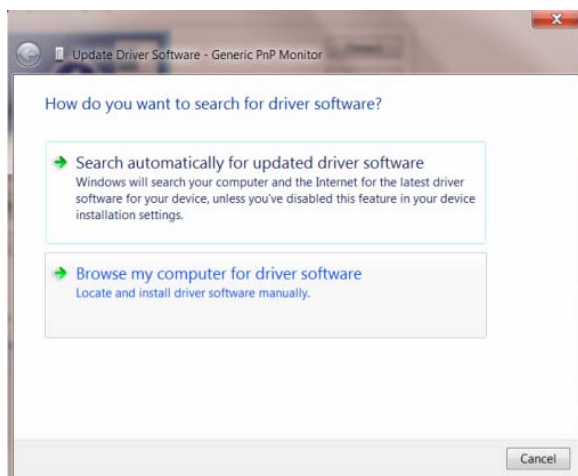
8. 「モニター」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。



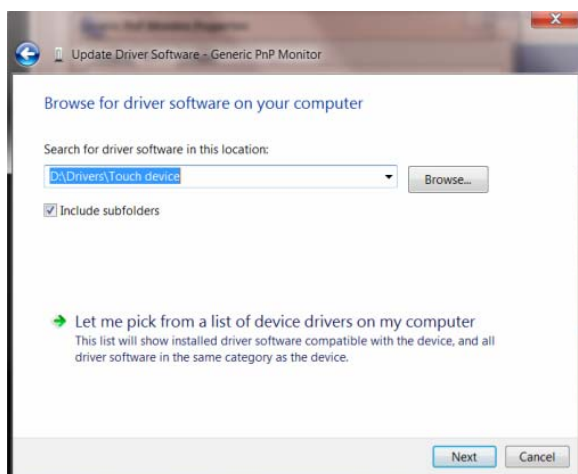
9. 「ドライバ」タブをクリックします。



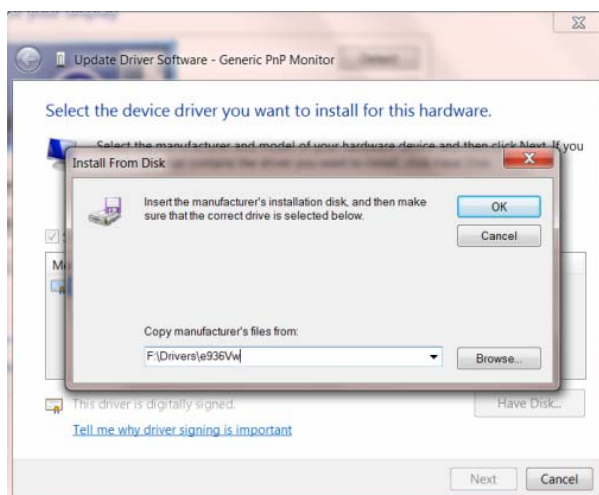
10. 「ドライバの更新...」を右クリックして「ドライバソフトウェア 汎用 PnP モニターの更新」ウィンドウを開き、「マイコンピュータを閲覧してドライバソフトウェアを検索する」ボタンをクリックします。



11. 「マイコンピュータのデバイスドライバのリストから選択する」を選択します。



12. 「ディスク使用」ボタンをクリックします。「閲覧」ボタンをクリックして次のディレクトリ:X:\\$Driver¥module name(XはCD-ROMドライブのドライブ文字識別子)にナビゲートします。

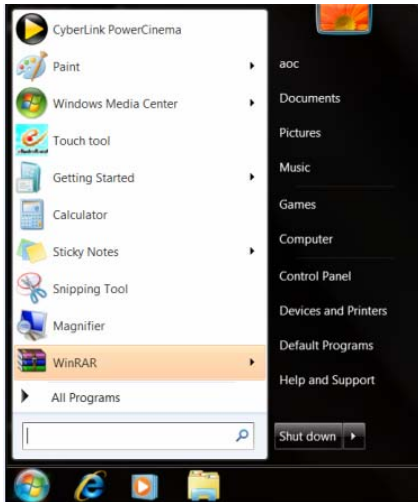


13. 「xxx.inf」ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。「OK」ボタンをクリックします。
14. モニターのモデルを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。ファイルはCDからハードディスクドライブにコピーされます。
15. 開いているすべてのウィンドウを閉じ、CDを取り出します。
16. システムを再起動します。最大のリフレッシュレートと対応するカラーマッチングプロファイルが自動的に選択されます。

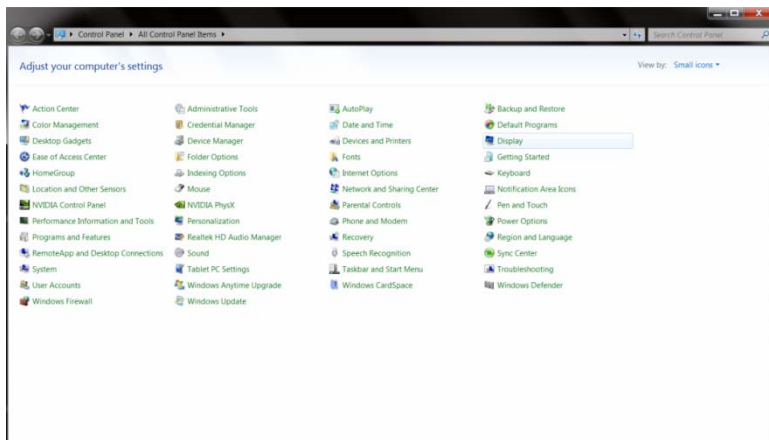
Windows 7

1.Windows® 7 を起動します。

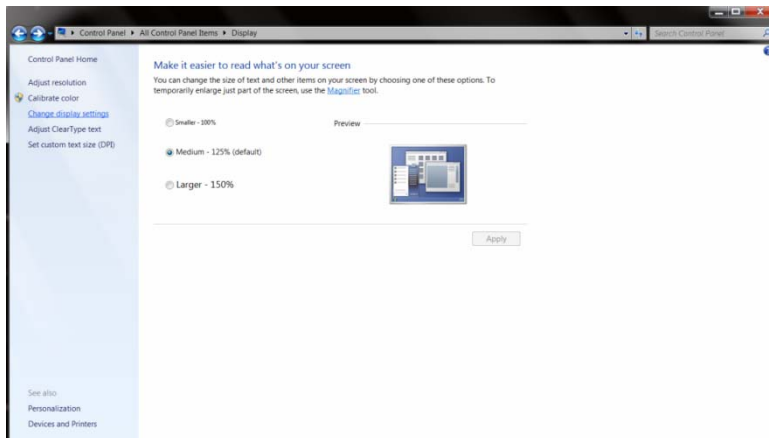
2.Start(スタート) ボタンをクリックし、次に、Control Panel(コントロール パネル)をクリックします。



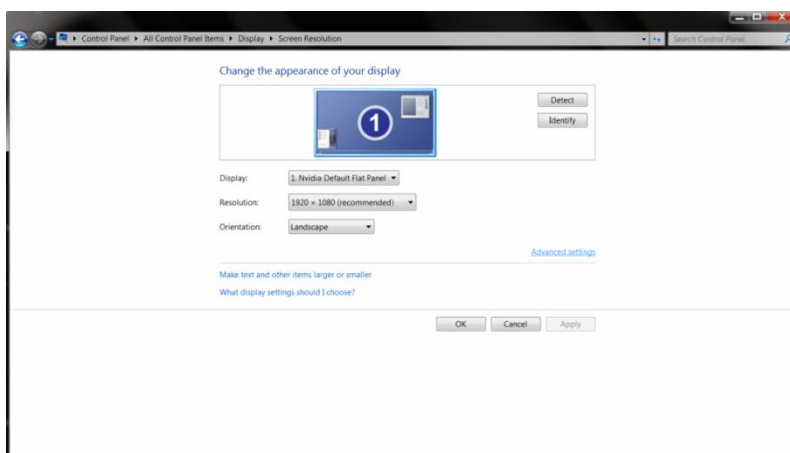
3. Display(画面)アイコンをクリックします。



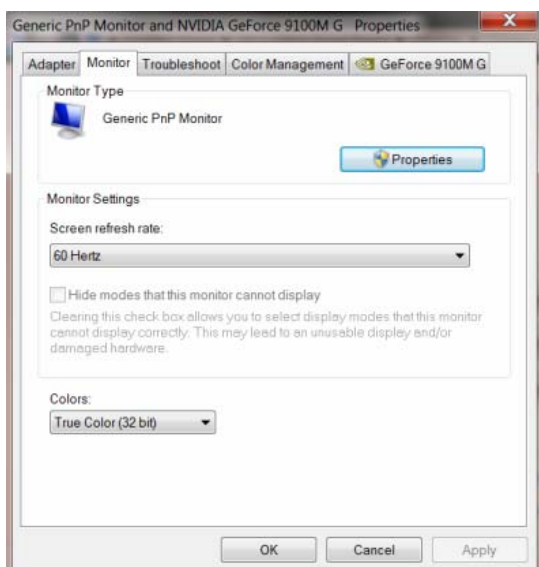
4.「Change display settings(画面の設定の変更)」ボタンをクリックします。



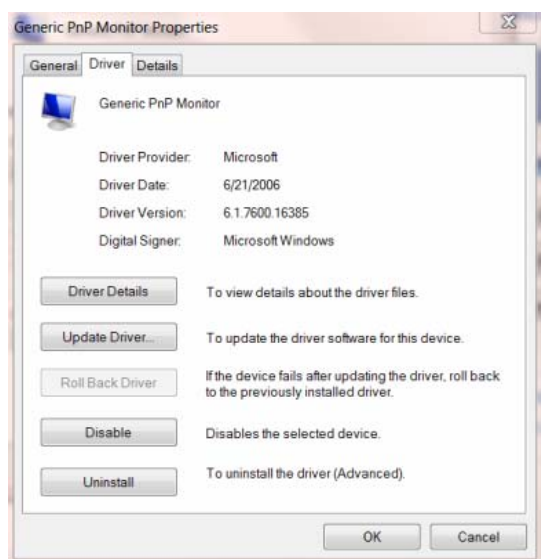
5. Advanced Settings(詳細設定)ボタンをクリックします。



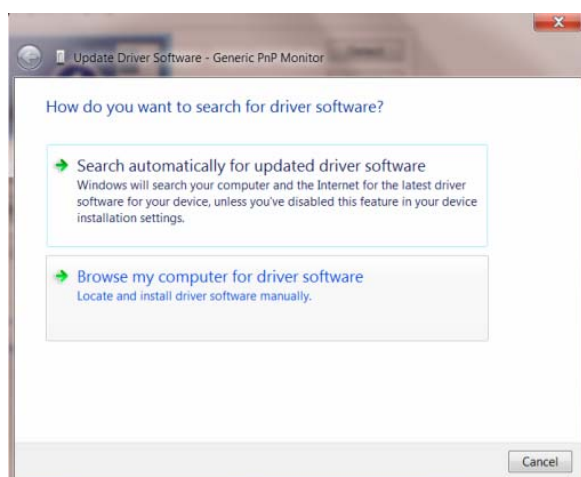
6. [Monitor(モニタ)] タブをクリックし、次に、[Properties(プロパティ)] ボタンをクリックします。



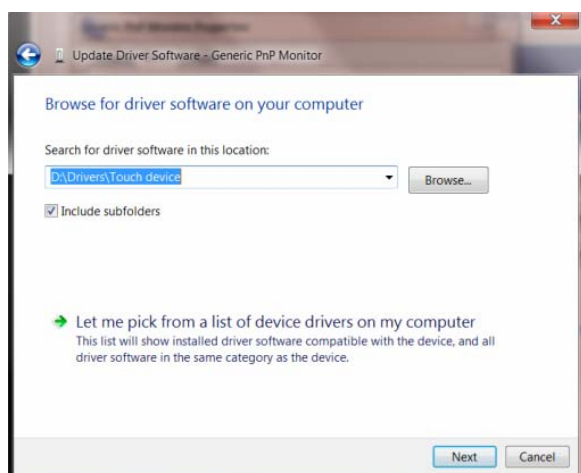
7. **[Driver(ドライバ)]** タブをクリックします。



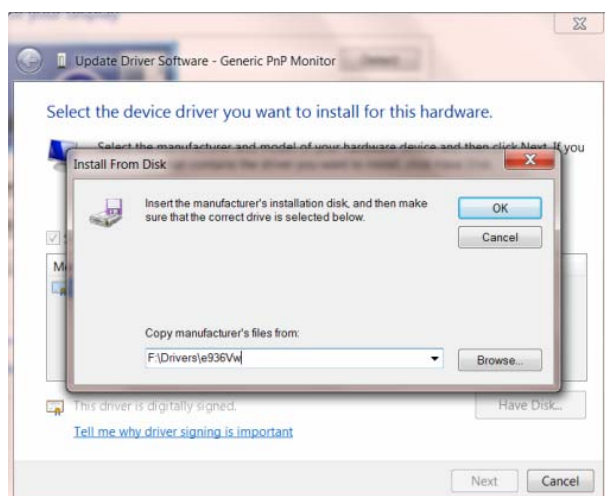
8. **[Update Driver...(ドライバの更新...)]** をクリックして、「Update Driver Software–Generic PnP Monitor(ソフトウェア・ジェネリック PnP モニターの更新)」ウィンドウを開きます。次に、「**Browse my computer for driver software(マイ コンピュータでドライバソフトウェアを検索)**」ボタンをクリックします。



9. 「**Let me pick from a list of device drivers on my computer(マイ コンピュータ上のデバイスドライバの一覧から選択する)**」を選択します。



10. **[Have Disk(ディスク使用)]** ボタンをクリックします。**[Browse(検索)]** ボタンをクリックして、次のディレクトリへナビゲートします:
X:¥Driver¥module name (X は CD-ROM ドライブ用のドライブレターです)。



11. 「xxx.inf」ファイルを選択して **[Open(開く)]** ボタンをクリックします。**[OK]** ボタンをクリックします。
12. お使いのモニターの種類を選択して、**[Next(次へ)]** ボタンをクリックします。ファイルが CD からお使いのハードディスクドライブへコピーされます。
13. 開いているウィンドウをすべて閉じて CD を取り外します。
14. システムを再起動します。システムが、最大リフレッシュレートと対応するカラーマッチングプロファイルを自動的に選択します。

Windows Vista

1. Start(スタート)と Control Panel(コントロール パネル)をクリックします。次に、「Appearance and Personalization(デスクトップの表示と個人設定)」をダブルクリックします。



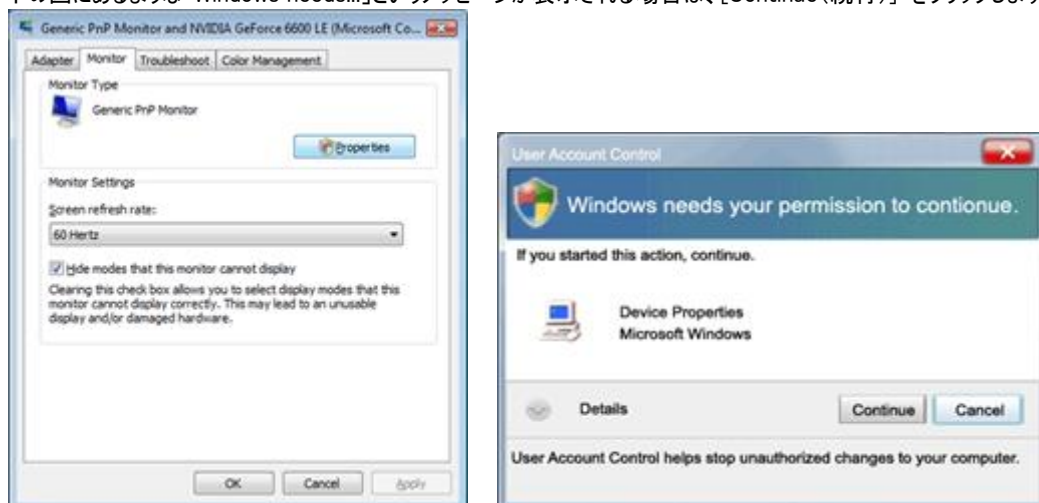
2. 「Personalization(個人設定)」と「Display Settings(画面の設定)」をクリックします。



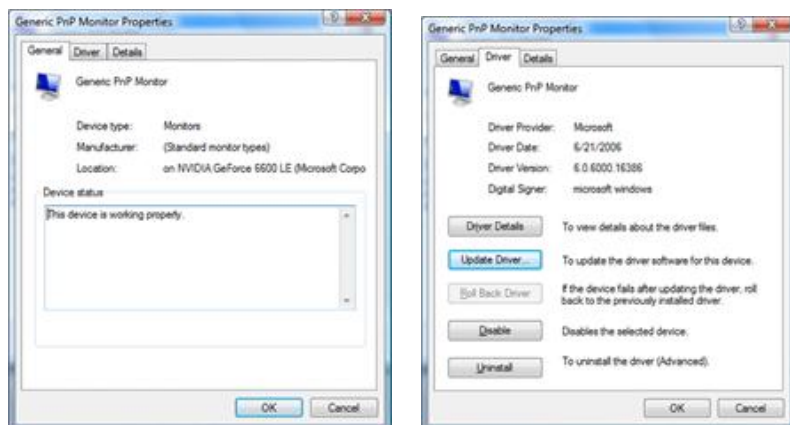
3. 「Advanced Settings...(詳細設定...)」をクリックします。



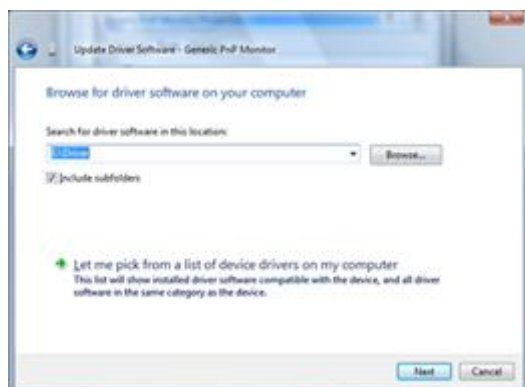
4. [Monitor(モニタ)] タブの [Properties(プロパティ)] をクリックします。[Properties(プロパティ)] ボタンが無効になっている場合は、お使いのモニター用の設定が完了していることを意味します。モニターは現在の状態で使用できます。下の図にあるような「Windows needs...」というメッセージが表示される場合は、[Continue(続行)] をクリックします。



5. [Driver(ドライバ)] タブの「Update Driver... (ドライバの更新...)」をクリックします。



6. 「Browse my computer for driver software (マイ コンピュータでドライバソフトウェアを検索)」チェックボックスにチェックを入れて、「Let me pick from a list of device drivers on my computer (マイ コンピュータ上のデバイスドライバの一覧から選択する)」をクリックします。



7. [Have disk...(ディスク使用...)] ボタンをクリックし、次に、[Browse...(検索...)] ボタンをクリックして、該当するドライブ F:¥Driver (CD-ROM ドライブ)を選択します。

8. お使いのモニターの種類を選択して [Next(次へ)] ボタンをクリックします。

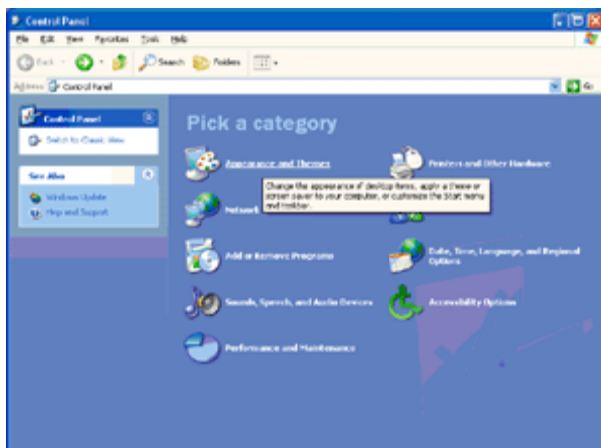
9. [閉じる] → [閉じる] → [OK] → [OK] を表示される画面の順に従ってクリックします。

Windows XP

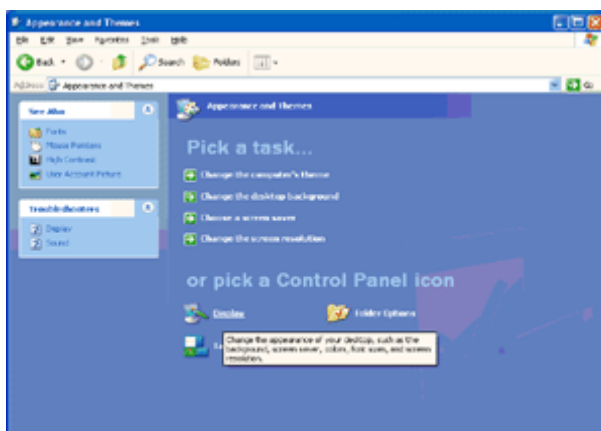
1. Windows® XP を起動します。
2. [Start(スタート)]ボタンをクリックし、次に、[Control Panel(コントロール パネル)]をクリックします。



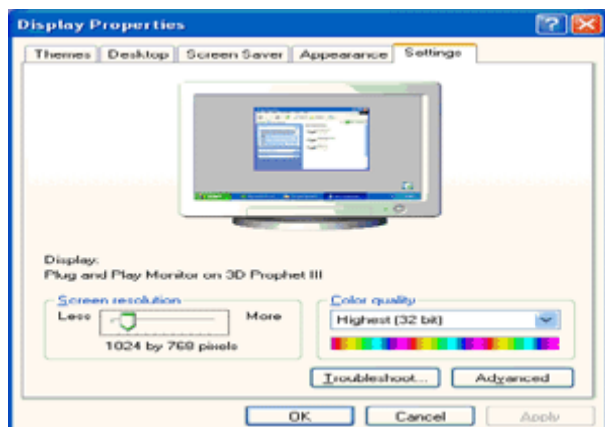
3. カテゴリ「Appearance and Themes(デスクトップの表示とテーマ)」を選択してクリックします。



4. 「Display(画面)」項目をクリックします。



5. [Settings(設定)] タブを選択して、次に、[Advanced(詳細設定)] ボタンをクリックします。

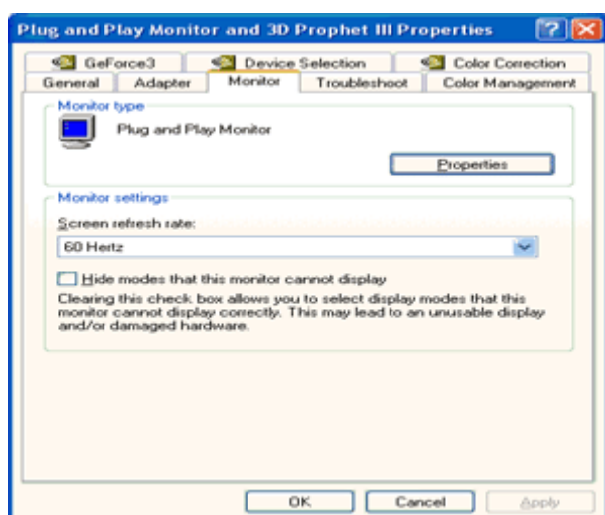


6. [Monitor(モニタ)] タブを選択します。

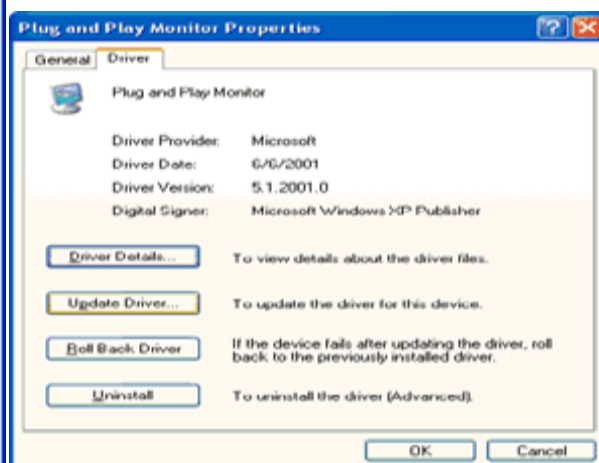
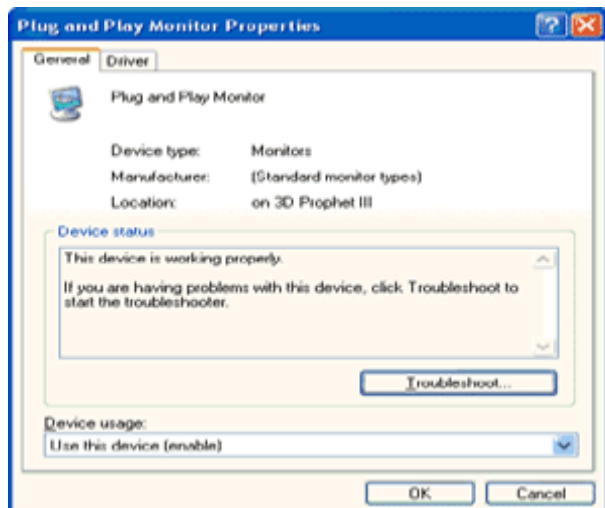
– [Properties(プロパティ)] ボタンが無効になっている場合は、お使いのモニターが正しく設定されていることを意味します。インストールを停止してください。

– [Properties(プロパティ)] ボタンが有効になっている場合は、[Properties(プロパティ)] ボタンをクリックします。

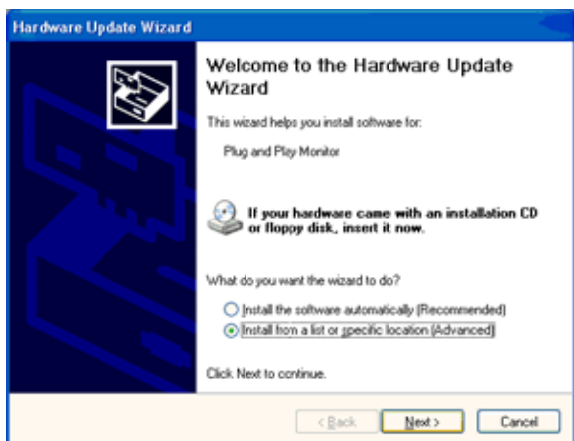
次の手順に従ってください。



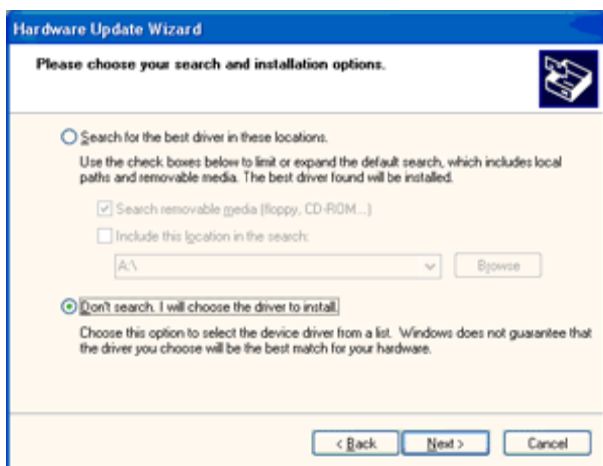
7. [Driver(ドライバ)] タブをクリックして、次に、「Update Driver...(ドライバの更新...)」ボタンをクリックします。



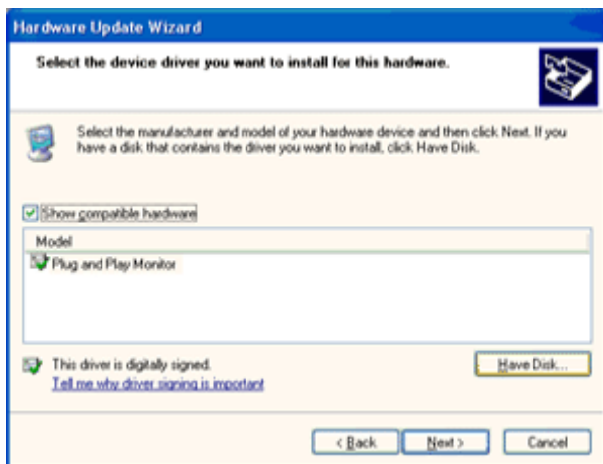
8. 「Install from a list or specific location [advanced] (一覧または特定の場所からインストールする [詳細設定])」ラジオボタンを選択して、次に、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。



9. 「Don't Search. I will choose the driver to install (検索しないで、インストールするドライバを選択する。)」ラジオボタンをクリックします。次に、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。



10. [Have disk...(ディスク使用...)] ボタンをクリックし、次に、[Browse...(検索...)] ボタンをクリックして、該当するドライブ F: (CD-ROM ドライブ)を選択します。



11. [Open (開く)] ボタンをクリックして、次に、[OK] ボタンをクリックします。

12. お使いのモニターの種類を選択して、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。

– 「has not passed Windows® Logo testing to verify its compatibility with Windows® XP (Windows® XP との互換性を検証する Windows® Logo ロゴテストに合格していません)」というメッセージが表示される場合は、[Continue Anyway (続行)] ボタンをクリックします。

13. [Finish (終了)] ボタンをクリックして、次に、[Close (閉じる)] ボタンをクリックします。

14. [OK] ボタンをクリックして、更に [OK] ボタンをクリックして [画面のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

Windows 2000

1. Windows® 2000 を起動します。
2. Start(スタート)ボタンをクリックし、Settings(設定)をポイントして、次に、Control Panel(コントロール パネル)をクリックします。
3. Display(画面)アイコンをダブルクリックします。
4. [Settings(設定)] タブを選択して、次に、「Advanced...(詳細設定...)」をクリックします。
5. 「Monitor(モニタ)」を選択します。
- [Properties(プロパティ)] ボタンが無効になっている場合は、お使いのモニターが正しく設定されていることを意味します。
インストールを停止してください。
- [Properties(プロパティ)] ボタンが有効になっている場合。[Properties(プロパティ)] ボタンをクリックします。
次の手順に従ってください。
6. [Driver(ドライバ)] タブをクリックし、次に、「Update Driver...(ドライバの更新...)」ボタンをクリックして、[Next(次へ)] ボタンをクリックします。
7. 「Display a list of the known drivers for this device so that I can choose a specific driver(このデバイスの既知のドライバの一覧を表示して、その一覧から選択する)」を選択して、次に、[Next(次へ)] をクリックし、[Have disk...(ディスク使用...)] をクリックします。
8. [Browse...(検索...)] ボタンをクリックして、該当するドライブ F: (CD-ROM ドライブ)を選択します。
9. [Open(開く)] ボタンをクリックして、次に、[OK] ボタンをクリックします。
10. お使いのモニタの種類を選択して、[Next(次へ)] ボタンをクリックします。
11. [Finish(終了)] ボタンをクリックして、次に、[Close(閉じる)] ボタンをクリックします。
「Digital Signature Not Found(デジタル署名が見つかりませんでした)」ウィンドウが表示される場合は、[Yes(はい)] ボタンをクリックします。

Windows ME

1. Windows® Me を起動します。
2. Start(スタート)ボタンをクリックし、Settings(設定)をポイントして、次に、Control Panel(コントロール パネル)をクリックします。
3. Display(画面)アイコンをダブルクリックします。
4. [Settings(設定)] タブを選択して、次に、「Advanced...(詳細設定...)」をクリックします。
5. [Monitor(モニタ)] ボタンを選択して、次に、[Change...(変更...)] ボタンをクリックします。
6. 「Specify the location of the driver(Advanced)(ドライバの場所を指定(詳細設定))」を選択して、次に、[Next(次へ)] ボタンをクリックします。
7. 「Display a list of all the drivers in a specific location, so you can choose the driver you want(特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示して、その一覧から選択する)」を選択して、次に、[Next(次へ)] をクリックし、[Have Disk...(ディスク使用...)] をクリックします。
8. [Browse...(検索...)] ボタンをクリックして、該当するドライブ F: (CD-ROM ドライブ)を選択し、次に、[OK] ボタンをクリックします。
9. [OK] ボタンをクリックし、お使いのモニタの種類を選択して、[Next(次へ)] ボタンをクリックします。
10. [Finish(終了)] ボタンをクリックして、次に、[Close(閉じる)] ボタンをクリックします。

i-Menu



AOC の「i-Menu」ソフトウェアへようこそ。i-Menu では、モニター上の OSD ボタンの代わりに、画面メニューを使ってモニター画面の設定を簡単に調整できます。次のインストールガイドに従って、インストールを完了します。



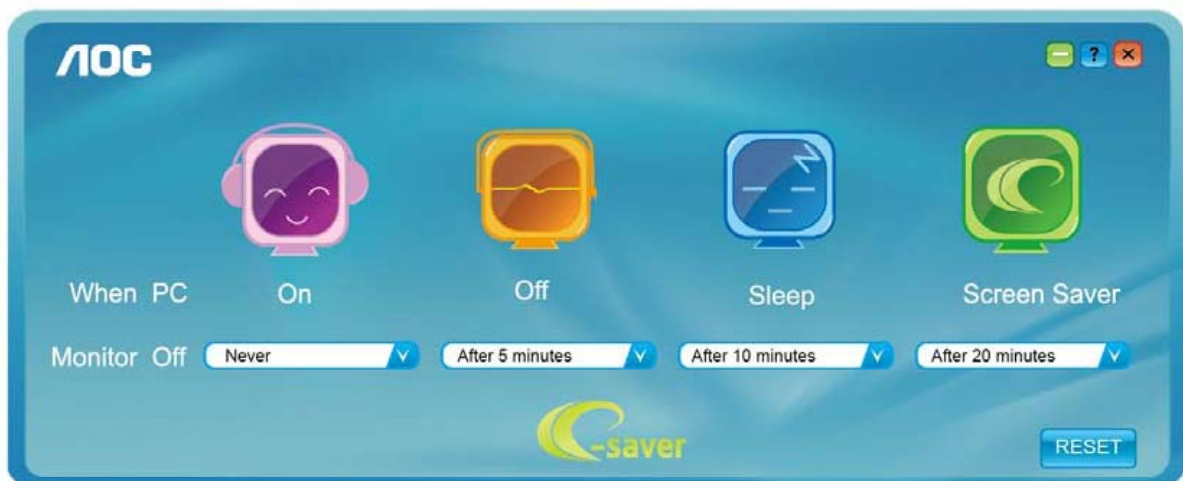
e-Saver



AOC e-Saver モニター電源管理ソフトをご使用いただきありがとうございます。AOC e-Saver は、モニターのスマートシャットダウン機能を備えており、PC がどんな状態（オン、オフ、スリープまたはスクリーンセーバー）のときでも、時間通りにモニターをシャットダウンできます。実際のシャットダウン時間は設定できます（下記の例を参照してください）。「driver/e-Saver/setup.exe」をクリックして、e-Saver ソフトのインストールを開始し、インストールウィザードに従ってソフトのインストールを完了してください。

4つのPCのステータスのいずれかから、プルダウンメニューにより、モニターを自動的にシャットダウンする希望の時間（分）を選択できます。上の例は、以下のことを示しています。

- 1) モニターはPCがオンのときは絶対にシャットダウンされません。
- 2) モニターはPCがオフになってから5分後に自動的にシャットダウンされます。
- 3) モニターはPCがスリープ/スタンバイモードになってから10分後に自動的にシャットダウンされます。
- 4) モニターはスクリーンセーバーが表示されてから20分後に自動的にシャットダウンされます。



「リセット(RESET)」をクリックして、e-Saver を以下のようなデフォルト設定に設定できます。



Screen+



AOC の“Screen+”ソフトウェアへようこそ。,(スクリーン+ソフトウェア)はデスクトップ画面分割、ツールで、デスクトップ画面を異なるペインに分け、また書くペインは異なるウィンドウを表示します。ウィンドウを対応するペインにドラッグするだけでアクセスすることができます。複数モニタ表示もサポートしているため、タスクは一層容易になります。インストール・ソフトウェアに従ってインストールしてください。



トラブルシューティング

問題と質問	考えられる解決方法
電源 LED がオンにならない	電源ボタンがオンになっており、電源コードが接地電源コンセントとモニターに正しく接続されていることを確認します。
画面に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続と電源供給を点検します。 ●ケーブルは正しく接続されていますか？ (サブケーブルを使って接続している場合) SIGNAL ケーブルの接続を点検します。 ●電源がオンで、コンピュータを再起動した場合に、初期画面(ログイン画面)が表示されます。 初期画面(ログイン画面)が表示される場合は、使用できるモード(Windows ME/XP/2000 のセーフモード)でコンピュータを起動して、次に、ビデオカードの周波数を変更します。 (「オプションの解像度を設定する」を参照してください) 初期画面(ログイン画面)が表示されない場合は、サービスセンターまたは最寄りの販売代理店までご連絡ください。 ●画面に「Input Not Supported (入力がサポートされていません)」と表示されますか？ ビデオカードからの信号が、モニターが正しく処理できる最大解像度と周波数を超える場合は、このメッセージが表示されます。 モニターが正しく処理できる最大解像度と周波数に調整します。 ●AOC モニタードライバがインストールされていることを確認します。
画像が静止する、または、二重映りする	コントラストと輝度を調整します。 押して、自動調整します。 延長ケーブルやスイッチボックスを使用していないことを確認します。モニターは背面にあるビデオカード出力コネクタに直接接続することを推奨します。
画像が跳ねる、ちらつく、または、画像に波形が入る	電気干渉を引き起こす可能性のある電気機器をモニターからできるだけ離します。 お使いの解像度でモニターが対応できる最大リフレッシュレートを使用します。
モニターがアクティブオフモードのままになる	コンピュータの電源スイッチがオンの位置になっていることを確認します。 コンピュータのビデオカードがスロットにしっかり納まっていることを確認します。 モニターのビデオケーブルがコンピュータに正しく接続されていることを確認します。 モニターのビデオケーブルを点検して、曲がっているピンがないことを確認します。 キーボードの CAPS LOCK キーを押して、CAPS LOCK LED を点検し、コンピュータが動作することを確認します。 CAPS LOCK キーを押すと、LED はオンまたはオフになります。
プライマリカラーの 1 色がない (赤、緑、または、青)	モニターのビデオケーブルを点検して、破損しているピンがないことを確認します。 モニターのビデオケーブルがコンピュータに正しく接続されていることを確認します。
画像が画面の中央に表示されない、または、サイズが合っていない	水平位置と垂直位置を調整するか、または、ホットキー(電源/自動)を押します。
画像の色欠陥(白が白に見えない)	RGB(赤・緑・青)カラーを調整するか、または、希望する色温度を選択します。
画面が水平または垂直に歪む	Windows 95/98/2000/ME/XP シャットダウンモードを使ってクロックとフォーカスを調整します。 押して、自動調整します。

仕様

一般仕様

LCD パネル	機種番号	I2477FWQ	
	駆動システム	TFT カラー LCD	
	表示可能画像サイズ	60.47cm 対角	
	ピクセルピッチ	0.2745 mm(H) x 0.2745mm(V)	
	ビデオ	赤(R)、緑(G)、青(B)アナログインターフェース, & digital インターフェース	
	分離同期	水平/垂直 TTL	
	ディスプレイの色	16.7M 色	
	ドットクロック	148.5 MHz	
解像度	水平走査範囲	30 kHz – 83 kHz	
	水平走査サイズ(最大)	527.04mm	
	垂直走査範囲	50 Hz – 76 Hz	
	垂直走査サイズ(最大)	296.46mm	
	最適プリセット解像度	1920x 1080 (60 Hz)	
	プラグアンドプレイ	VESA DDC2B/CI	
	入力コネクタ	D サブ 15 ピンおよび,HDM/MHL,DP	
	入力ビデオ信号	A アナログ: 0.7Vp-p (標準)、75 OHM、ポジティブおよび,TMDS	
	電源	12Vdc,3.75A	
	消費電力	アクティブな 25 W(標準)	
		スタンバイ 0.5 W 未満	
	タイミングオフ	0~24 hrs	
	スピーカー	3Wx2	
物理的特性	コネクタタイプ	D サブおよび,HDMI,DP	
	信号ケーブルタイプ	取り外し可能	
環境条件	温度	動作時	0° to 40°
		非動作時	-25° to 55°
	湿度	動作時	10% to 85% (結露なし)
		非動作時	5% to 93% (結露なし)
	高度	動作時	0~ 5000m (0~ 16404 ft)
		非動作時	0~ 12192m (0~ 40000 ft)

LCD パネル	機種番号	I2777FQ	
	駆動システム	TFT カラー LCD	
	表示可能画像サイズ	68.6cm 対角	
	ピクセルピッチ	0.3114 mm(H) x 0.3114 mm(V)	
	ビデオ	赤(R)、緑(G)、青(B)アナログインターフェース, & digital インターフェース	
	分離同期	水平/垂直 TTL	
	ディスプレイの色	16.7M 色	
	ドットクロック	148.5 MHz	
解像度	水平走査範囲	30 kHz – 83 kHz	
	水平走査サイズ(最大)	597.888mm	
	垂直走査範囲	50 Hz – 76 Hz	
	垂直走査サイズ(最大)	336.312mm	
	最適プリセット解像度	1920x 1080 (60 Hz)	
	プラグアンドプレイ	VESA DDC2B/CI	
	入力コネクタ	D サブ 15 ピンおよび, HDMI/MHL,DP	
	入力ビデオ信号	A アナログ: 0.7Vp-p(標準)、75 OHM、ポジティブおよび,TMDS	
	電源	19Vdc,3.42A	
	消費電力	:アクティブな 27 W(標準)	
		スタンバイ 0.5W 未満	
	タイMINGオフ	0~24 hrs	
	スピーカー	3Wx2	
物理的特性	コネクタタイプ	Dサブおよび, HDMI, DP	
	信号ケーブルタイプ	取り外し可能	
環境条件	温度	動作時	0° to 40°
		非動作時	-25° to 55°
	湿度	動作時	10% to 85% (結露なし)
		非動作時	5% to 93% (結露なし)
	高度	動作時	0~ 5000m (0~ 16404 ft)
		非動作時	0~ 12192m (0~ 40000 ft)

プリセットディスプレイモード

スタンド	解像度	水平 周波数 (kHz)	垂直 周波数 (Hz)
VGA	640 X 480@60Hz	31.469	59.940
VGA	640 X 480@72Hz	37.861	72.809
VGA	640 X 480@75Hz	37.500	75.000
IBM MODE DOS	720 X 400@70Hz	31.469	70.087
SVGA	800 X 600@56Hz	35.156	56.250
	800 X 600@60Hz	37.879	60.317
	800 X 600@72Hz	48.077	72.188
	800 X 600@75Hz	46.875	75.000
XGA	1024 X 768@60Hz	48.363	60.004
	1024 X 768@70Hz	56.476	70.069
	1024 X 768@75Hz	60.023	75.029
***	1280 X 960@60Hz	60.000	60.000
SXGA	1280 X 1024@60Hz	63.981	60.020
	1280 X 1024@75Hz	79.976	75.025
WXGA+	1440 X 900@60Hz	55.935	59.876
WSXGA+	1680 X 1050@60Hz	65.290	59.950
HD	1920 X 1080@60Hz	67.500	60.000
MAC MODE VGA	640x480@67Hz	35.000	66.667
MAC MODE SVGA	832 X 624@75Hz	49.725	74.551
MAC MODE XGA	1024x768@75Hz	60.241	74.927

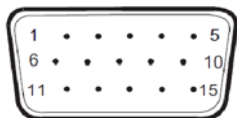
HDMI/DP

フォーマット	解像度	垂直周波数
480p	640x480	60Hz
480p	720x480	60Hz
576p	720x576	50Hz,
720p	1280x720	50Hz,60Hz
1080p	1920x1080	50Hz,60Hz

MHL

フォーマット	解像度	タイプ	垂直周波数
480p	640x480	SD	60Hz
480p	720x480	SD	60Hz
576p	720x576	SD	50Hz,
720p	1280x720	HD	50Hz,60Hz
1080p	1920x1080	HD	30Hz

Pin Assignments



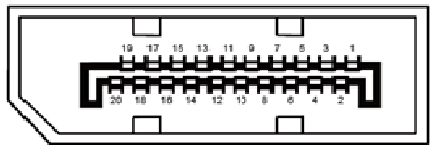
15-Pin Color Display Signal Cable

Pin No.	Signal Name	Pin No.	Signal Name
1	Video-Red	9	+5V
2	Video-Green	10	Ground
3	Video-Blue	11	N.C.
4	N.C.	12	DDC-Serial data
5	Detect Cable	13	H-sync
6	GND-R	14	V-sync
7	GND-G	15	DDC-Serial clock
8	GND-B		



19-Pin Color Display Signal Cable

Pin No.	Signal Name	Pin No.	Signal Name	Pin No.	Signal Name
1	TMDS Data 2+	9	TMDS Data 0	17	DDC/CEC Ground
2	TMDS Data 2 Shield	10	TMDS Clock +	18	+5V Power
3	TMDS Data 2	11	TMDS Clock Shield	19	Hot Plug Detect
4	TMDS Data 1+	12	TMDS Clock		
5	TMDS Data 1Shield	13	CEC		
6	TMDS Data 1	14	Reserved (N.C. on device)		
7	TMDS Data 0+	15	SCL		
8	TMDS Data 0 Shield	16	SDA		



20-Pin Color Display Signal Cable

Pin No.	Signal Name	Pin No.	Signal Name
1	ML_Lane 3 (n)	11	GND
2	GND	12	ML_Lane 0 (p)
3	ML_Lane 3 (p)	13	CONFIG1
4	ML_Lane 2 (n)	14	CONFIG2
5	GND	15	AUX_CH(p)
6	ML_Lane 2 (p)	16	GND
7	ML_Lane 1 (n)	17	AUX_CH(n)
8	GND	18	Hot Plug Detect
9	ML_Lane 1 (p)	19	Return DP_PWR
10	ML_Lane 0 (n)	20	DP_PWR

プラグアンドプレイ

プラグアンドプレイ DDC2B 機能

本モニターには、VESA DDC 標準に準拠する VESA DDC2B 機能が搭載されています。この機能により、使用する DDC のレベルに従ってモニター ID をホストシステムに連絡したり、モニターの表示性能に関する追加情報を通信することができます。

DDC2B は、I2 C に基づく双方向性のデータ チャンネルです。ホストは、DDC2B チャンネルを通じて EDID 情報をリクエストできます。

規制

米国連邦通信委員会(FCC)通告

米国連邦通信委員会(FCC)クラス B 無線周波数干渉適合宣言「警告」: (FCC 規格の機種のみ)

注記: 本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠するクラス B のデジタル機器の制限に適合することが試験によって確認されています。これらの制限は、機器を住宅地に設置する場合に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供することを目的とします。本装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用し、放射することがあります。そのため、指示に従って設置および使用しないと、有害な干渉の原因につながる可能性があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば干渉が発生しないという保証はありません。本装置によって、ラジオやテレビの受信に有害な干渉が発生する場合は(機器の電源をオン/オフにして確認します)、ユーザーは次のいずれかの方法で干渉を取り除いてください:

受信アンテナの方向または位置を変える。

装置と受信機の距離を離す。

受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに装置を接続する。

販売代理店またはラジオ/テレビに詳しい技師に相談する。

注記:

準拠に責任のある者が明示的に承認していない変更や改造を行った場合は、装置を操作するユーザー権限が無効になることがあります。

シールドインターフェースケーブルおよび AC 電源ケーブルが付属している場合は、放射制限に準拠するためにそれらを使用しなければなりません。

製造者は、この機器に対する許可の無い変更によって発生したラジオやテレビの受信障害について責任を負いません。このような障害の修正については、ユーザーの責任になります。このような障害の修正については、ユーザーの責任になります。

EU 電気・電子機器廃棄物(WEEE)指令準拠宣言

ユーザーは、欧州連合内において電気・電子機器廃棄物を一般家庭ごみと一緒に廃棄することは禁じられています。



製品または梱包箱に貼付されているこの記号は、本製品はその他の家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを表します。装置を廃棄する場合は、ユーザーは、電気・電子機器廃棄物のリサイクル向けに指定され収集場所に廃棄する責任があります。廃棄する装置を分別収集してリサイクルすることで、天然資源を維持して、廃棄機器を人間の健康と環境を保護する方法で再利用します。廃棄機器のリサイクル用収集場所についての詳しい情報については、お住まいの地域の市役所、家庭ごみ収集業者、または、製品をお買い上げいただいた店舗までお問い合わせください。

インドの場合、WEEE 宣言



製品やそのパッケージ上に記載されているこの記号は、その製品を他の家庭ごみと一緒に処分してはいけないことを示しています。

電気・電子機器をリサイクルするために指定された収集場所に不要機器を持ち込み、責任を持って処分してください。分別収集やリサイクルを通して不要機器の処分することにより天然資源の保護に役立ち、人々の健康と環境を守る手段によって廃棄物をリサイクルできるようになります。

インドでリサイクルのために破棄物を持ち込める場所の詳細については、以下の Web リンクを参照してください。

www.aocindia.com/ewaste.php

日本向け材料含有率基準準拠宣言

日本工業規格 JIS C0950:2005 の規定に基づき、製造元は、2006 年 7 月 1 日以降販売の電子製品について、特定化学物質の含有率基準準拠宣言書を提出することが義務付けられています。本製品の JIS C0950 規格の規定に基づく材料含有率基準準拠宣言書は、WWW.AOC.COM/XXX でご覧いただけます。

VCCI

この装置は、クラスBの情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

EPA Energy Star



ENERGY STAR® is a U.S. registered mark. As an ENERGY STAR® Partner, AOC International (Europe) BV and Envision Peripherals, Inc. have determined that this product meets the ENERGY STAR® guidelines for energy efficiency.

Congratulations!

This product is designed for both you and the planet!



TCO Development works for sustainable IT - manufacture, use and recycling of IT products reflecting environmental, social and economic responsibility.

TCO Certified is a third party verified program, where every product model is tested by an accredited impartial test laboratory. TCO

Certified represents one of the toughest certifications for ICT products worldwide.

Some of the Usability features of TCO Certified Displays:

- Visual Ergonomics for image quality is tested to ensure top performance and reduce sight and strain problems. Important parameters are Resolution, Luminance, Contrast, Reflection and Colour characteristics
- Products are tested according to rigorous safety standards at impartial laboratories
- Electric and magnetic fields emissions as low as normal household background levels
- Workload ergonomics to ensure a good physical environment

Some of the Environmental features of TCO Certified Displays:

- Production facilities have an Environmental Management System (EMAS or ISO 14001)
- Low energy consumption to minimize climate impact
- Restrictions on Chlorinated and Brominated flame retardants, plasticizers, plastics and heavy metals such as cadmium, mercury and lead (RoHS compliance)
- Both product and product packaging is prepared for recycling
- The brand owner offers take-back options

Corporate Social Responsibility

- The brand owner demonstrates the product is manufactured under working practices that promote good labour relations and working conditions.

The Criteria Document can be downloaded from our web site. The criteria included in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user and environmentally friendly direction. Our ICT product labeling system began in 1992 and is now requested by users and ICT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit
www.tcodevelopment.com

TCO Certified Document for Displays version: 2.3



Technology for you and the planet

(FOR TCO CERTIFIED MODELS)